



世の光

目次

ごく当初の伝道者たち	5
初期の神の使命者たち	10
エジプトにおけるヨセフ	15
モーセ	20
光を担う者となるために準備する (I)	26
光を担う者となるために準備する (II)	31
神はイスラエルにつぶやきをやめるようにお教えになる	36
カナンの境界から学ぶ伝道における教訓	41
バラム	47
イスラエルにおける災難	52
エリコの征服	57
イスラエルが敗れた—なぜか	62
聖なる国民	67

セブンスデーアドベンチスト
改革運動世界総会 安息
日 学 校 部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-
0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.90, No.1

編集&発行:
S DA改革運動日本ミッション

〒 368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 40-1045

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト : Illustrations: istock.
com on front cover and pp.
25, 72; MapResources on
pp. 4, 46, 72

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

まえがき

2014 年のこの年、安息日学校教科のために用意されたシリーズは、世の光という主題です。

イエスは、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」と言われました（ヨハネ 8:12）。これは世の初めから真理でした。全能者の僕で闇の中に取り残された人は一人もいません。

「神が民にご自身をあらわされるときには、いつも光が神のご臨在の象徴であった。世の初めの創造のみことばによって、光が暗やみに照りいでた。光は、昼は雲の柱に宿り、夜は火の柱となってイスラエルの大軍をみちびいた。光は、シナイ山上で主のまわりにおそるべき威光となって燃えた。光は、幕屋の贖罪所の上にとどまった。光は、ソロモンの神殿の献堂式のときに宮の中に満ちた。光は、天使たちが待ち望んでいた羊飼いたちに救いのおとずれをもたらしたとき、ベツレヘムの丘の上に輝いた。

神は光である。『わたしは世の光である』とのみことばの中に、キリストは、ご自分が神と一つであられることと、全人類家族に対するご自分の関係とを宣言された。世の初めに『やみの中から光が照りいで』るようにされたのは、キリストであった（コリント第二 4:6）。……

われわれは、人類の最も古い記録にまでさかのぼって、世の偉大な教師たちをたどることができる。しかし光なるキリストは、彼らよりも前からおられたのである。太陽系の月や星〔惑星〕が太陽の光を反射して輝くように、世の偉大な思想家たちは、彼らの教えが真実であるかぎり、義の太陽キリストの光を反射しているのである。思想のかがやき、知性のひらめきの一つ一つは、世の光なるキリストから出ている。」（各時代の希望中巻 251-253）

わたしたちの研究において読者は、何世紀にもわたるキリストに従う者たちの品性、感化力、そして働きが強調されていることに気づくでしょう。

「太陽が夜の陰を追い払い、世界を命に目ざめさせながら愛の使いをはたしていくように、キリストに従う者たちは、誤謬と罪の暗黒の中にいるものに天の光をまき散らしながら、自分の使命を果たすために出て行かなければならない。」（祝福の山 48）

安息日学校生徒が、この四半期の教科を通して、いかに神がアダムの時からイスラエルの荒野における寄留者生活の終わりの時まで、光を緊急に必要としているところに光を降り注ぐ器として、人を選んでこられたかを学ぶときに、祝福を受けるように祈ります。

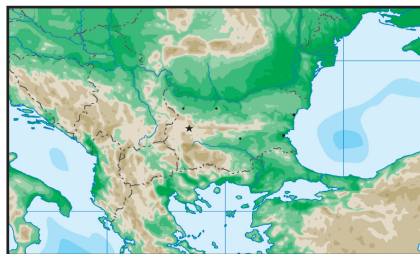
世界総会安息日学校支部

第一安息日献金

ブルガリアの

ミッションフィールドのために

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、ヘブル 13:16 をもってご挨拶申し上げます。「善を行うことと施しをすることとを、忘れてはいけぬ。神は、このようないけにえを喜ばれる」。



ブルガリア共和国は、公式にヨーロッパ連合の一部で、黒海の西岸に位置するバルカン半島にある国です。北はルーマニアに、西はセルビアとマケドニアに、南はギリシャとトルコに、そして東は黒海に囲まれています。地理的には、歴史上当初より様々な文明が交錯する地点でした。今日、736 万人が主に国の都市部中央に集中しています。人口の 4 分の 3 以上が、自らを宗教的に東オーソドックスとしています。

改革のメッセージは 20 世紀の最初の十年に根ざしました。わたしたちの教会の「地下」での礼拝の年限は過ぎ去りました。民主主義の到来により、わたしたちは自分たちの教会を公式に登録し、今や合法的に自由に運営することができます。教会の登録以来、大変な努力と神様のみ助けにより、二つの礼拝堂を手に入れることができました。一つは南ブルガリアに、もう一つは北部です。しかし、ブルガリアは貧しく、所得が低い国です。世界的な金融危機により、わたしたちの状況はさらに悪化しました。維持資金が尽きたために、わたしたちの礼拝堂は、大いに修繕を必要としています。

わたしたちはまたこの国でもっと多くの場所に伝道したいと願っていますが、それには書籍や文書の印刷の資金が必要です。今まで、わたしたちは自分たちのできる範囲で少量の定期刊行物を出版してきました。しかし、これでは文書伝道だけでなく、しかるべき公の施設での聖書クラスを行なうような大規模かつ組織だった伝道を実行するのに十分ではありません。

これらの目的のために、安息日学校の生徒の皆さんに、この週第一安息日献金が集められるときには、惜しみなく助けの手を開いてくださるようお願いします。先立って皆さんにお願いいたします。神様が皆さんを祝福してくださいように。

ブルガリアの皆さんの兄弟姉妹より

ごく当初の伝道者たち

「すなわち、ひとりの人の不従順によって、多くの人が罪人とされたと同じように、ひとりの従順によって、多くの人が義人とされるのである。」(ローマ 5:19)

「罪が存在するやいなや、そこに救い主がおられた。キリストはご自分が苦しまなければならないことをご存じであつたが、なお、人間の身代わりとなられた。アダムが罪を犯すやいなや、神の御子はご自分を人類のための担保として差し出された。」(SDA バイブル・コメンタリ [E.G. 訳付・コメト] 1 巻 1084)

推奨文献：人類のあけぼの上巻 53-64

日曜日

12月29日

1. アダム、最初の伝道者

- a. どのように永遠の福音のメッセージは最初にアダムとエバに説かれましたか (創世記 3:15; (ガラテヤ 3:16 参照))。

「死のとばりのように陰うつと闇が将来に垂れこめていたが、なお贖い主の約束のうちに、希望の星が暗い将来を照らした。……

なんという愛であろう! なんという驚くべきへりくだりであろう! 栄光の王が自ら墮落した人類にまで低くすることを申し出られるとは! このお方はご自分のみ足をアダムの足跡に置かれるのであつた。このお方は墮落した人間の性質を取り、アダムに対して勝利した強い敵に立ち向かわれるのであつた。このお方はサタンに勝利し、このようにしてアダムの、またご自分を信じるすべての人々の失敗と墮落の恥辱を贖う道を開かれるのであつた。」(SDA バイブル・コメンタリ [E.G. 訳付・コメト] 1 巻 1084, 1085)

- b. 福音のメッセージをはじめに担った者として、アダムはこのメッセージをどのように自分の子どもたちに伝えましたか (申命記 6:6, 7)。

「〔アダム〕は、主の道に従って、彼の子孫を教えるように命じられていた。それで彼は、神から受けた啓示を注意深く心にたくわえて、それを世代から世代へくり返し伝えた。」(人類のあけぼの上巻 77)

2. アベルとセツ

a. 神はアダムの子孫の中に、どのような種類の人々を持っておられましたか。

「罪悪がはびこってはいたが、神との交わりによって、高められ、気高くされ、天の交わりのような生活を送った聖徒の群れが常にあった。彼らは著しい知能と、すぐれた学識の持ち主であった。彼らには、正しい品性を築き、信心について、その時代の人々だけでなく、後世の人々にも教えるという偉大で清い使命があった。」（人類のあけぼの上巻 80）

b. どのように、アベルは福音のメッセージの忠実な証人でしたか（創世記 4:4, 10; ヨハネ第一 3:12; ヘブル 11:4）。

「アベルは、贖罪の大原則を把握した。彼は自分が罪人で、彼の魂と神との間の交わりを、罪とその刑罰である死とが妨げているのを知った。彼は、ほふられた犠牲、すなわち、犠牲にされた生命をたずさえてきて、彼が犯した律法の要求を認めた。彼は、流された血によって、来たるべき犠牲、カルバリーの十字架上のキリストの死を見た。そして、彼は、そこでなされる贖罪を信じて、自分が義とされ、供え物が受け入れられた証拠が与えられた。」（同上 68）

c. わたしたちはセツの生涯から、どのように励ましを受けますか（創世記 4:25）。

「セツは、カインやアベルよりは、はるかに背が高く、気品を備え、他のむすこたちよりアダムによく似ていた。彼はりっぱな人物で、アベルの足跡に従った。しかし、彼は、生来の美点をカインよりも多く受け継いだのではなかった。アダムの創造について、『神は自分のかたちに人を創造された』と言われている（同 1:27）。しかし、人間は墮落後、『自分にかたどり、自分のかたちのような男の子を生んだ』のである。アダムは、神のかたちにかたどり、罪のないものに創造されたが、カインと同様に、セツも両親の墮落した性質を受け継いだ。しかし彼は、贖い主に関する知識と、義の教訓をも受けた。彼は、神の恵みによって、神に仕え、神を尊んだ。彼は罪深い人々が悔い改めて創造主をあがめ、服従するようになるために努力した。これは、アベルも生きていたなら、したと思われることであった。」（同上 75, 76）

3. エノク

a. エノクによってどのような預言的な真理が宣べ伝えられましたか (ユダ 14, 15)。

「エノクは義の説教者になって、神がお示しになったことを人々に伝えた。」(人類のあけぼの上巻 82)

b. 伝道者としてのエノクの忠実さの基礎は何でしたか (創世記 5:22)。「エノクは神とともに歩んだ」という言葉を、あなたはどのように理解しますか。

「エノクが神と共に歩んだのは、恍惚状態や幻を見るようなものではなくて、日常のすべての務めを果たすことにおいてであった。彼は、自分を世から全くしゃ断して、隠者にならなかった。というのは、彼は、この世で神のためにしなければならない仕事があったからである。彼は、家庭においても、人々との交際においても、夫、父、友人、市民として、常に堅く立つてゆるがない主のしもべであった。彼の心は、神のみ旨に一致していた。『ふたりの者がもし約束 (同意) しなかったら、一緒に歩くだろうか』 (アモス 3:3) ……」

エノクは、不信心なものの悪事が増加するのを嘆き、神へのエノクの崇敬の念が、彼らの不信心によって弱められるのを恐れて、常に彼らと交わることを避け、人々から離れて瞑想と祈りにふけた。こうして彼は主に仕え、神のみこころを明らかに知って、それを実行しようと努めた。」(同上 81, 82)

c. エノクとキリストの来臨の時に生きている義人たちは、どのように対比することができますか (創世記 5:24; ヘブル 11:5; テサロニケ第一 4:17)。

「この預言者〔エノク〕の清い品性は、キリスト再臨の時に、『地からあがなわれ』る人々が到達しなければならない清い状態をあらわしている (黙示録 14:3)。そのときには、洪水前の世界のように、罪惡が世にはびこる。……しかし、神の民は、エノクのように心の純潔と神のみこころとの一致を求めて、ついにキリストのみかたちを反映するに至るのである。彼らは、エノクのように、主の再臨と罪に対して下される裁きについて世界に警告を発し、その清い行状と模範とによって、不信心なものの罪を譴責する。世界が水によって滅ぼされる前にエノクが天に移されたように、生きている義人は、地が火によって滅ぼされる前に天にあげられる。」(同上 86)

4. ノア、義の教師

- a. 聖書はだれを「神の子ら」として言及していますか。また彼らの態度はどのようなものですか（ローマ 8:14; ヨハネ第一 3:1; コリント第二 6:14, 17, 18）。
- b. アダムの死後、「神の子ら」のどの過ちが、主の僕とサタンの子のあいだの区別が急速になくなりつつあることを示していますか（創世記 6:1, 2）。

「カインの子孫の娘たちの美に魅せられたセツの子孫は、彼らと雑婚して主のみ心を痛めた。神の礼拝者の多くは、常にさらされている誘惑に負けて罪に陥り、彼ら独特の清い性質を失ってしまった。彼らは墮落したものと交わって、精神においても行為においても似てきた。彼らは、戒めの第七条の拘束を無視し、『自分の好む者を妻にめとった』（創世記 6:2）。セツの子孫は、『カインの道』に歩み、世俗の繁栄と快楽に没頭し、主の戒めをないがしろにした（ユダ 11）。」（人類のあけぼの上巻 77）

- c. 人類の邪悪さが蔓延したために、神は警告のメッセージを宣布するよう、だれを召されましたか（創世記 6:5-8; ペテロ第二 2:5）。これは、わたしたちの時代とどのように似ていますか（マタイ 24:37-39; ペテロ第二 3:3-6）。

「神は、洪水が来る前に、ノアをつかわして世界に警告を発し、人々を悔い改めさせて、切迫している破滅から彼らをのがれさせようとされた。……義の説教者は、120 年の間、来たるべき破滅について世界に警告を発したが、彼のメッセージは拒否され、軽べつされた。」（同上 102）

「洪水前の人々に、報復をもたらす原因になった同じ罪が今日行なわれている。神をおそれることは、人々の心から消えうせ、神の律法は冷淡と軽べつをもってあしらわれている。あの時代の極度の世俗化が、現在の世代にも同様に行なわれている。」（同上 100, 101）

5. ノア、キリストのための代弁者

- a. ノアを通してだれが語っておられましたか。またどのようにでしたか（ヘブル 1:1; ペテロ第二 1:21）

「[ヨハネ第一 3:8 引用]。キリストはノアの時代にこの戦いに携わっておられた。いにしえの世界の住民に、警告、譴責、招きのメッセージによって語っておられたのは、このお方のみ声であった。このお方は民に悔い改めることのできる 120 年の恩恵期間をお与えになった。しかし、彼らはサタンの欺瞞を選び、洪水によって滅びた。」(SDA バイブル・コメント [E.G. ホワット・コメント] 1 巻 1089)

- b. ノアが説教するために御霊によって動かされていたように、聖書は彼の聴衆を、どのように描写していますか（ペテロ第一 3:18-20; 4:6; イザヤ 42:7）。
- c. 福音のメッセージはノアの聴衆にとって、何をしたはずでしたか。また、それはわたしたちが受け入れるならば、わたしたちのために何をなしますか（イザヤ 61:1; エペソ 2:1-5）。

「福音を通して命と不死をもたらし、こうして神の民をその罪から救うことができるように、神がキリストを死人の中からよみがえらせられたように、キリストは墮落した人類を霊的な命によみがえらせ、彼らにご自分の命をもって息吹を与え、彼らの心を希望と喜びで満たされたのである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1904 年 3 月 31 日)

個人的な復習問題

1. アダムの子孫はどのように創造と、アダムとエバの墮落の物語を生き生きと保ったのですか。
2. アダムの伝道方法を、今日わたしたちの生活において、どのように用いることができますか。
3. エノクの時代において、彼のメッセージは何でしたか。
4. キリストは、ノアを通じて、どのように罪につながれていた人々に警告されましたか。
5. 聖霊は、ノアの時代に、どれくらいの期間「罪過と罪とによって死んでいた」人々と格闘なさいましたか。

初期の神の使命者たち

「アブラハムは近寄って言った、『まことにあなたは正しい者を、悪い者と一緒に滅ぼされるのですか。』」（創世記 18:23）

「アブラハムはすべての神の子が持つべき真の意味での謙遜を持っていたが、なお罪人の魂に非常に強い関心を持っていた。……ソドムに対するアブラハムの関心と切望は、自分の周囲にいる人々に対して非常に強い関心を持つべきわたしたちにとって教訓である。」（勝利したキリスト 75）

推奨文献：人類のあけぼの上巻 141-143, 166-173

日曜日

1月5日

1. アブラハムの召し

- a. セムの後、神はご自分の特別な使命者としてだれを召されましたか。そして彼はどのように応えましたか（創世記 12:1-4; ヘブル 11:8, 9）。

「神はいつもご自分に仕えるために残りの民を保ってこられた。アダム、セツ、エノク、メトセラ、ノア、セムなどが次々に立ち上がり、神のみこころの尊い啓示を代々保ったのであった。……神は、ご自身のみこころをアブラハムに伝え、ご自分の律法の要求や、キリストを通してなしとげられる救いについての明確な知識を彼にお与えになった。」（人類のあけぼの上巻 121）

- b. アブラハムはなぜ自分の親戚や友人から去らなければならなかったのですか（マタイ 10:37, 38; 使徒行伝 7:2-4; アモス 3:3）。

「アブラハムを、彼の青年時代の仲間から引き離さなければならなかった。親族や友人たちの感化は、主がそのしもべに与えようとした訓練を妨げるおそれがあった。……アブラハムのように、今日も、なお、多くの人々が試みを受ける。」（同上 122, 124）

2. アブラハム、神の友

- a. アブラハムは、わたしたちにどのような貴重な模範を残しましたか（創世記 12:7, 8; 13:4, 18）。

「彼は、天幕を張ると必ずそのそばに祭壇を築いて、朝夕の犠牲をささげるときに天幕内のすべての者を集めた。彼の天幕が移動していくと、祭壇はそこに残った。後年、アブラハムから教えを受けたカナン人が、そのあたりで放浪生活を営んだ。そうした人々のなかのだれかが祭壇を見つけると、そこにだれが住んでいたかがすぐにわかった。そして、そこに自分の天幕を張り、祭壇を修理して、生きた神を礼拝するのであった。」（人類のあけぼの上巻 126）

- b. 神はご自分の民が何になることを望んでおられますか（マタイ 5:14-16）。アブラハムの生涯の中で、有能なクリスチャンの証人としての例をいくつか挙げなさい（創世記 14:21-24; 18:19）。

「キリストが心のなかに住んでおられるなら、彼の臨在の光をかくすことも、あるいは、その光が暗くなることもあり得ない。かえって、魂にかかる自我と罪の霧が、義の太陽の明るい光に照らされて、日ごとに消されていくにつれて、ますます輝きを増すことであろう。

神の民は、地上の神の代表者である。神は、この世界の道徳的暗黒のなかで、彼らが光になることを望まれる。」（同上 133, 134）

- c. なぜアブラハムは神の友と呼ばれているのですか（ヤコブ 2:21-23; 創世記 26:5）。わたしたちはどのようにしてキリストの友とみなされることができますか（ヨハネ 15:14; ピリピ 2:15）。

「クリスチャンの品性と方針は、世俗の人々のそれとは対照的である。クリスチャンは世の娯楽や様々なお祭り騒ぎの光景に喜びを見出すことができない。より高く、より聖なるものが、心をひきつけ、愛情を捕らえる。クリスチャンはその従順によって、自分たちが神の友であることを示すのである。」（わたしたちの高い召し 149）

3. 温かくもてなす家族

a. どの習慣がアブラハムの品性の大事な特質でしたか（創世記 18:1-8）。

「暑い夏のまっ昼間、アブラハムが天幕の入口にすわって静かなけしきをながめていると、はるかむこうから三人の旅人が近づいてくるのが見えた。旅人たちは、彼の天幕に近づく前に、立ちどまって行き先の相談をしているように見えた。彼らの依頼を受ける前にアブラハムは立ち上がり、そして彼らが他の方向へ行こうとするような様子を見て、急いで彼らの後を追い、礼をつくして、自分の家に止まってしばらく休息をとることにより自分を榮譽に浴させてほしいと願った。アブラハムは、彼らがちりによごれた足を洗うために自分で水をくんできた。そして、旅人が涼しい木陰で休んでいる間に、アブラハムは食事の用意をした。その準備が終わると、客が食事をしている間、彼は、そのそばにかしこまって立っていた。」（人類のあけぼの上巻 140）

b. 使徒パウロはアブラハムの経験からどのような教訓を引用しましたか（ヘブル 13:2）。

c. どのような方法において、わたしたちは今日アブラハムの模範に従うことができますか（イザヤ 58:7; マタイ 25:35; ルカ 14:12-14）。

「わたしたちの社交、接待は社会の習慣に左右されることなく、かえてキリストの精神とその教えに従ってすべきである。イスラエル人はいつも祭日に貧しい人、旅人、レビ人、すなわち聖所において祭司の助けであり、また宗教教師、伝道師であった者を家に迎え入れた。これらの人は客とみなされ、社交的および宗教的なすべての祝いに、いつもその接待を受け、病気のとき、困ったときには優しくいたわられた。わたしたちが自己の家庭に歓迎すべき人もこういう人でなければならない。こうした歓迎がどれほど伝道にたずさわっている看護婦や教師、あるいは苦労をなめ、働き疲れた母親、または家もなく、貧困と多くの失望にあって戦っている弱い年寄たちを喜ばせ、励ますことであろう。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 326, 327）

4. アブラハム、決然とした仲保者

- a. だれがアブラハムに個人的にソドムの邪悪さとその滅びの計画を明らかにしましたか（創世記 18:16, 17, 20-22）。

「ふたりの天使は、アブラハムとあとのひとりを残して出かけたが、彼はいま、このかたが神のみ子であることを知った。信仰のあつい彼は、ソドムの住民のためにとりなした。彼は、剣によって彼らを救ったことがあるが今度は祈りによって彼らを救おうとした。」（人類のあけぼの上巻 141）

- b. アブラハムは神の憐れみにどのように嘆願しましたか（創世記 18:23-33）。彼の祈りを鼓舞した精神は何でしたか（ヨハネ 15:12, 13, 17）。

「彼は、深い尊敬と謙虚な心で訴えた。『わたしはちり灰に過ぎませんが、あえてわが主に申します』（創世記 18:27）。自信や自己の義を誇る心はなかった。彼は、自分の服従とか神のみこころを行なうための犠牲とかを理由にして、恵みを求めたのではない。彼は、自分自身罪人であるが、罪人のために哀訴した。神に近づく人々は、すべてこのような精神をもたなければならない。」（同上 142）

「アブラハムは、滅亡にひんした魂への愛に動かされて祈った。彼は、腐敗したソドムの町の罪はきらったが、罪人が救われることを願った。アブラハムがソドムのために抱いた深い関心は、われわれが悔い改めていない人々に対して感じなければならない切実な思いを示している。われわれは、罪を憎まなければならないが、罪人には、あわれみと愛を持たなければならない。」（同上 142）

- c. 今日わたしたちが周囲の世に手を差し伸べようとするとき、すべてのクリスチャンの生涯において最高の目的は何であるべきですか（コリント第一 9:19-23; コリント第二 5:14, 15）。

「わたしたちは、はるかに少ない論争と、はるかに多いキリストの提示を必要としている。わたしたちの贖い主はわたしたちのすべての信仰と希望の中心であられる。この方の比類のない愛を表わし、人々の心を励ましてこのお方に彼らの最もすぐれ最も聖い愛情を捧げるように鼓舞することのできる人々は、偉大にして聖なる働きをしているのである。」（文書伝道 42）

5. ロト、ソドムの門における伝道者

- a. どの習慣を通して、ロトは自分の伝道者としての責任を果たそうと努めましたか(創世記 19:1-3)。

「ロトは、旅人がソドムで乱暴されそうなを見て、彼らがはいってきたときに、彼らを自宅に招いて保護することが自分の義務だと思った。彼は、旅人が近づいたとき、門にすわっていたが、彼らを見て、立ち上がって出迎え……た。」(人類のあけぼの上巻 167)

- b. ロトがソドムに住んでいる間、どのような状態が彼の思いの平安を奪いましたか(ペテロ第二 2:7, 8)。ソドムの人々はアブラハムやロトの宗教をどのように扱いましたか(ルカ 17:28-30; ユダ 17, 18)。

「アブラハムは、ソドムの住民にとって見知らぬ人ではなかった。彼が見えない神を礼拝することは、人々のちょう笑的になっていた。」(同上 164)

- c. ソドムにおいて忠実な伝道者になろうとしたロトには最高の意図があったにもかかわらず、何が今日、都市に生活するクリスチャンの危険として挙げられていますか(創世記 19:14-17, 26)。

個人的な復習問題

1. アブラハムは、どのように自分がいない間も、その時代の人々に福音を説くことができましたか。
2. わたしたちはどのように、アブラハムが決然とした仲保者であったことが分かりますか。
3. アブラハムの生涯において、もてなしはどれほど重要でしたか。
4. クリスチャンとしてわたしたちの最初の目標は何であるべきですか。
5. ソドムの住人に対する伝道者として、ロトの証は、どのようにもっと効果あるものとなることができましたはずですか。

エジプトにおけるヨセフ

「神は、あなたがたのすえを地に残すため、また大いなる救をもつてあなたがたの命を助けるために、わたしをあなたがたよりさきにつかわされたのです。」(創世記 45:7)

「多くの者は……試される。彼らは神のみ声が直接天から下ってくるのを聞かないが、神はみ言葉の教えによって、またこの摂理の諸事件によって彼らを召しておられるのである。」(クリスチャンの奉仕 261)

推奨文献：人類のあけぼの上巻 234-246

日曜日

1月12日

1. 神のみ摂理

- a. ヨセフは神のみ摂理のうちに自分がエジプトへ連れて行かれたという自分の信念をどのように表現しましたか。彼は神がどの目的を自分のうちに成就しておられることを悟りましたか(創世記 45:5, 7; 50:20)。

「ヨセフを通して、王やエジプトの高官たちの注目は、真の神に向けられた。」(人類のあけぼの上巻 244)

- b. アブラハムの子孫は「世の光」となり、こうして「すべての国民に対して」祝福となるために召されたので、彼らはどこで短期間のうちに数多い民となる最上の機会を得ましたか(詩篇 105:17, 23, 24)。

「エジプトは神の御目的の成就に必要な条件がそなわっていたのである。灌漑もよく、肥沃なエジプトの一地区が彼らに開放され、そこは人口が急速に増加するのに好都合であった。『羊飼はすべて、エジプトびとの忌む者』であるといわれて職業的反感にも、エジプトで当面するのであったが、かえってそのために、異なった別の民族としての区別を保つことができ、エジプトびとの偶像礼拝に加わらずにすんだ。」(同上 260)

2. ヨセフの成功を取めた奉仕

- a. ヨセフはポテパルの家で奴隷として仕えている間、何を表わしましたか（創世記 39:1, 2）。

「エジプトに到着したヨセフは、パロの侍衛長ポテパルに売られてそこで十年間仕えた。ここで彼は非常に大きな誘惑に会った。彼は、偶像礼拝のただ中にいた。偽りの神の礼拝は、王宮のあらゆる栄華に取り巻かれ、当時最高の文明国の富と教養にささえられていた。……彼は、父祖の信仰を恥と思わず、自分がエホバの礼拝者であることを少しも隠そうとしなかった。」（人類のあけぼの上巻 235,236）

- b. ポテパルは、自分の家を繁栄させるヨセフの管理の源泉に関して、何を悟るようになされましたか（創世記 39:3）。結果として、ポテパルはどうしましたか（創世記 39:4, 5）。

「ヨセフにゆだねられたものが、すべて驚くべき繁栄をもたらしたことは、直接奇跡が行なわれたためではなかった。それは彼の勤勉と管理と活動に対して、天からの祝福が加えられたのである。ヨセフは、この成功を神の恵みに帰し、偶像礼拝者の主人もそれがこれまでにない繁栄の秘訣であることを認めた。ところが、目的に向かってたゆまず努力をするのでなければ、成功を取めることはできない。」（同上 236）

- c. どの約束が、すべての忠実で勤勉な人のものですか（詩篇 1:1-3; 128:1, 2; 箴言 12:24; 22:29）。

「だれも自分の責任を軽くみてはならない。もしあなたがドルではなく、セントしか扱っていないとしても、神の祝福が根気強い勤勉の上にとどまることを覚えていなさい。このお方は小事の日をいやしめられない。小さいものを賢明に用いることは、驚くばかりの増大をもたらす。一タラントを賢明に用いるとき、二タラントを神へもたらすのである。」（管理者への勧告 48）

3. ヨセフの高潔さ

- a. ヨセフの信仰と高潔さは、ポテパルの家にいる間に、どのように試されましたか。またテストされたときのヨセフの反応はどのようなものでしたか（創世記 39:7-9）。

「ヨセフの答えは、宗教的原則の力を示した。彼は、地上の主人の信頼を裏切ろうとしなかった。そして、結果がどうなろうと、彼は天の主人に忠実であろうと願った。多くの人々は、神と聖天使たちの目が見守っているなかで、同胞の前ではないようなかってなふるまいをする。しかし、ヨセフはまず第一に神のことを考えた。」（人類のあけぼの上巻 237）

- b. ヨセフは自分の主人に対して忠実でしたが、ポテパルは自分の不道德な妻がヨセフに対してもちだした偽りの告発を信じるという印象を与えるために、どのような行動をとりましたか（創世記 39:20; 詩篇 105:17, 18）。

「ヨセフは、廉潔であつたために苦しみを受けた。彼を誘惑した者は、道にはずれた罪の汚名をヨセフに着せて恨みを晴らし、彼を獄屋に投げ入れた。もしポテパルが妻の訴えをそのとおりに信じたならば、ヘブルの青年の命はなかったことであろう。しかし、ヨセフの生活態度に常にあらわされていた慎みと正直とは、彼の無実を証明していた。しかし、主人の家の評判を傷つけないために、ヨセフは恥辱と束縛を受けることになった。」（同上 238）

- c. 獄屋はどこにありましたか。創世記 39:1 と 41:9, 10 を比較しなさい。神とポテパルは、ヨセフが獄屋にいる間に、どのように彼を用いましたか（創世記 40:1, 2, 5, 8, 12-19, 23）。

「王の給仕役の長は、ヨセフの夢の解き明かしと、獄屋での数多くの親切で慈悲深い行為に深く感謝した。ヨセフはそれに答えて、自分が獄屋に不当につながれていることを涙ながらに訴えて、彼の件を王に取り計らってくれるように頼んだ。……しかし、〔給仕役〕は、ふたたび王の愛顧をこうむったとき、恩人ヨセフのことをすっかり忘れてしまった。」（同上 239, 240）

4. パロの前でのヨセフ

- a. 神はどのように、み摂理のうちに、ヨセフを獄屋から出されましたか（創世記 41:1-7）。真の神は、どのようにご自身をパロに表わされましたか（創世記 41:9, 12, 14-16）。
- b. ヨセフは、王の夢の解き明かしの最初に、どのようにパロの注意を真の神へ向けましたか（創世記 41:25）。夢の解き明かしを要約しなさい（創世記 41:26-31）。
- c. ヨセフはパロにどのような勧告をしましたか（創世記 41:33-36）。

「解き明かしは、理路整然としていた。また、ヨセフの提案した政策は、堅実、賢明なものであったために、その正確なことは疑う余地がなかった。」（人類のあけぼの上巻 243）

- d. わたしたちは、パロは真の神を信じ始めたことが、どのようにわかりますか（創世記 41:38-41）。

「給仕役の長は、今や、自責の念にかられていたもので、恩人ヨセフを心からほめちぎって、かつての忘恩の罪を償おうと努めた。さらに王の調査は、給仕役の長の報告にまちがいのないことを証明した。王国に臨む危険を指示する知恵を持ち、それに当面するのに必要な準備のある者は、国中でヨセフのほかになかった。そこで王は、彼が提案した計画を実行に移す唯一の資格ある人物がヨセフであることを確信した。神の力がヨセフと共にあったことは明らかであった。しかもこの危機に臨んで、国家の諸問題に対処し得る資格のあるものは、王の役人のなかにひとりもいなかった。ヨセフがヘブル人の奴隷であることなどは、彼の明確な知恵と適正な判断力を考慮したとき、たいした問題ではなかった。『われわれは神の霊をもつこのような人を、ほかに見いだし得ようか』と王は家来たちに言った（創世記 41:38）。」（同上 243）

5. ヨセフ、価値ある模範

- a. 魂を勝ち取るのに成功する人が、ヨセフの経験から最初に学ぶべき教訓の一つは何ですか (ルカ 16:10)。

「最も低いところから、最も高いところにいたるまで、あらゆる場所にあつて忠実に義務を果たしたことはすべての能力を最高の奉仕のために発揮する訓練となった。創造主のみこころに従つて生きる者は、最も真実で最も高尚な品性を発達させることができる。『主を恐れることは知恵である、悪を離れることは悟りである』(ヨブ記 28:28)。

人生における小さなことが、品性の発展にどんな影響をおよぼすかを悟っている人は非常に少ない。われわれのなすべきことで、ほんとうに小さいというものは一つとしてない。われわれが日ごとに直面する環境は、われわれの忠実さをためし、さらに大きな信頼を受ける資格がある者かどうかをためすために意図されている。平常の生活での事務や取り引きにおいて原則を保ち続けることによって、心は快楽や好みよりも義務の要求を第一に考えるように習慣づけられる。このようにして訓練された心は、風にそよぐ草のように善と悪との間にゆらぐことはない。彼らは誠実と真実の習慣をつけてきたために義務に対して忠実である。彼らは小さなことに忠実であることによって、大きなことにおいても忠実である力を得るのである。」(人類のあけぼの上巻 245)

個人的な復習問題

1. ヨセフはいつ、自分がエジプトに移されたことは神のご計画であつたことを悟りましたか。
2. クリスマスの従業員は自分の忠実な働きによって、どのような祝福を仲間にもたらすことができますか。
3. 神性なみ摂理によって、ヨセフはどのようにパロの注意を真の神へ向けましたか。
4. 何が、パロは神を信じ始めたことを示唆していますか。
5. 魂を勝ち取る人が、ヨセフの模範から学ぶべき最初の教訓の一つは何ですか。

モーセ

「信仰によって、モーセは、成人したとき、パロの娘の子と言われることを拒み、罪のはかない歓楽にふけるよりは、むしろ神の民と共に虐待されることを選び、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる富と考えた。それは、彼が報いを望み見ていたからである。」(ヘブル 11:24-26)

「[モーセ] は、華麗な宮殿や王冠のむこうの、罪に汚れていないみ国において、至高者の聖徒たちに与えられる大きな栄光を仰いでいた。彼は、信仰によって、天の王が勝利者の頭におかれる朽ちない冠をみていた。」(人類のあけぼの上巻 281)

推奨文献：人類のあけぼの上巻 273-292

日曜日

1 月 19 日

1. 家庭—最初の伝道地

- a. ヨケベデは、自分の息子の教育に関してどのような責任を感じましたか (出エジプト記 2:7-9; 使徒行伝 7:20, 21)。

「神は母親の祈りを聞かれた。彼女の信仰は報われた。……彼女は、その子を神のために教育する機会を忠実に活用した。彼女は、この子が何か大いなる働きのために守られたことを確信した。……彼を神から引き離すような環境に囲まれるのであった。……彼女は、彼の心に神を恐れ、真理と正義とを愛するように教えこむことに力を入れ、あらゆる腐敗した影響から彼が守られることをひたすら祈り求めた。」(人類のあけぼの上巻 277)

- b. 両親は自分の子どもたちを、どのように教育すべきですか (箴言 22:6)。

「モーセのその後の全生涯、イスラエルの指導者として果たした大事業は、クリスチャンの母親の働きの重要性を証明している。これに匹敵する仕事はほかにない。」(同上 278)

2. モーセの第二の学校：王の宮廷

- a. モーセはエジプトの王の宮廷で、どのような教育を受けましたか（使徒行伝 7:22）。

「モーセはパロの王宮で、政治的また軍事的に最高の訓練を受けた。王は、娘の養子を次の王位継承者に指名し、青年モーセはその高い地位につくための教育を受けた。『モーセはエジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、言葉にもわざにも、力があつた』（使徒行伝 7:22）。彼は軍隊の指導者としての能力を発揮してエジプト軍の中で名声を博し、一般の人々からも傑出した人物と思われた。」（人類のあけぼの上巻 279）

- b. モーセがヘブルの家庭で受けていた教育の影響力について話し合いなさい。

「エジプトの法律によれば、パロの王位にすわるものは、みな、神官たちの階級に属さなければならなかった。モーセは、正式の後継者であつたのでこの神秘的な国家宗教を伝授されるべきであつた。これは、神官たちにゆだねられた義務であつた。モーセは非常に勤勉でまじめな研究家ではあつたが、彼を偶像礼拝に参加させることはできなかった。……天地の創造主であるただひとりの神以外は何をも礼拝しないという彼の決意はゆるがなかった。」（同上 279, 280）

- c. モーセが王冠の喪失に脅かされたとき、彼はどのような選択をしましたか。それは、なぜですか（ヘブル 11:24-26）。

「モーセは、地上の偉大な人物の中で傑出した者となり、地上の最も華麗な王国の宮殿の中でも一段と輝き、王国の権力を示す笏を持って支配するのにふさわしい者であつた。彼の知的な偉大さは、各時代の偉人よりもはるかにすぐれていた。歴史家、詩人、哲学者、軍隊の指揮官、また、立法官として彼と並び得る者はなかった。」（同上 280）

3. モーセの第三の学校：羊を飼う

- a. なぜこの羊を飼うという第三の学校は、目の前にある大きな働きのために神が準備させたいと願われた人にとって重要不可欠だったのですか(出エジプト記 2:15, 16, 21; 3:1; ヘブル 11:27)。

「モーセは、自己否定と困難という学校で、忍耐を学び、自分の感情をおさえることを学ぶべきであった。また、モーセは、賢明に人を支配することができるようになる前に、まず、彼自身が服従する訓練を受けなければならなかった。イスラエルびとに神のみこころを伝えることができるようになる前に、彼自身の心が全く神と調和していなければならなかった。モーセは、自分の経験から、援助を求めるすべてのものを、父親のようにめんどろをみる準備が必要であった。」(人類のあけぼの上巻 282, 283)

- b. 荒野における 40 年の学校生活の終わりに、モーセの品性における結果は何でしたか(民数記 12:3)。
- c. 人々を扱うことが要求されるところで、神に受け入れられる働きができるためには、だれでも何を学ばなければなりませんか(ローマ 12:18)。

「神のみわざをなすために選ばれたすべての人々の中に人間的な要素がみられる。だが、彼らは、型にはまった習慣や品性に満足して、じっとしている人々ではなかった。彼らは、熱心に神から知恵をえようと求め、神のために働くことを学ぼうとするのである。使徒ヤコブは『あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう』と言っている(ヤコブ 1:5)。しかし、神は、人々が暗黒の中にとどまって満足しているあいだは、天よりの光をお与えにならない。人間は、神の助けを受けるために、まず自分の弱さ、足りなさを自覚しなければならない。彼は、自分の中に大いなる変化が起こるように専心努力しなければならない。彼は、目をさまして熱心にたゆまず祈り、努力しなければならない。悪い習慣や風習は捨てなければならない。これらのあやまちを正し、正しい原則に調和するように堅く決心して励んでこそ、勝利は得られるのである。多くの人は、当然得られる地位を得られないでいる。というのは、彼らが自分で実行するように神から力が与えられているのに、神が彼らのためにしてくださるのを待っているからである。」(同上 283, 284)

4. 人間の弱さは言い訳にならない

- a. 「舌が重い」というモーセの臆病と自己不信の言い訳を、神はどのように取り除かれましたか（出エジプト記 4:10-12）。

「人間は、神がお与えになる責任を受け入れ、全力を尽くして正しく遂行しようとするときに、力と能力とを受けるものである。たとえ、その地位がどんなに低く、その能力にかぎりがあったとしても、神の力に信頼し、その働きを忠実に果たそうとするものは、真に偉大なものになるのである。」（人類のあけぼの上巻 291）

- b. モーセのどの弱さが神の怒りを招きましたか。自分の妻に譲歩する彼の傾向によって、どのように神への不従順という結果になりましたか（出エジプト記 4:24, 25）。

「モーセは、ミデアンからの途中で、神が怒っておられるという驚嘆すべき恐ろしい警告を受けた。ひとりの天使が、モーセをおどすような態度で現われ、あたかも、彼をただちに滅ぼすかのように思われた。それにはなんの説明もなかった。しかし、モーセは、神のご要求の一つを軽視したことを思い出した。彼は、妻の言うままになって、末の子に割礼の儀式を行なうことをなおざりにしていた。……選ばれた指導者が、このようなことを怠るならば、人々の間で神の戒めの力を弱めることになる。」（同上 292）

- c. 人々が主のための働きをなすように召されたとき、彼らは注意深く自分の義務を知り、それを行なうべきことを、何が示していますか（サムエル記上 15:22; ヤコブ 4:17）。

「〔多くの人々〕は、主の要求の一部を信じて従うことを拒んでいるにもかかわらず、形式的な礼拝は熱心に続けている。こうした礼拝には、神の霊の応答がない。もし人々が、神の戒めの一つを故意に犯し続けているならば、彼らがどんなに熱心に宗教の儀式を守ったとしても、主は、それをお受けになることができない。」（同上下巻 307）

5. クリスマン奉仕のために重要不可欠な資質

- a. 魂を勝ち取るすべての人が持たなければならない第一にして最も重要な資質とは何ですか（ヨハネ 21:15-17）。

「キリストがペテロにされた質問には深い意味があった。キリストは、弟子であることと奉仕とについてたった一つの条件を述べられた。『わたしを愛するか』と、主は言われた。これが必要欠くことのできない資格である。ペテロがほかのあらゆる資格をそなえていても、キリストの愛がなければ、彼は主の羊の群れを飼う忠実な牧者となることはできない。知識、慈悲心、雄弁、感謝、熱意はすべてよい働きの助けとなる。しかしイエスの愛が心のうちになければ、キリスト教の牧師の働きは失敗である。」（各時代の希望下巻 356）

- b. モーセがこの重要不可欠な資質を得たという証拠は何ですか（出エジプト記 32:9-12, 32, 33）。神は本当にイスラエルを滅ぼしたかったのですか、あるいはモーセを試されたかったのですか。

「もし、神がイスラエルを滅ぼそうとなさるならば、いったいだれが彼らのために嘆願することができようか。……モーセは、これまで神の導きのもとにイスラエル人のために多くのことを行なってきた。モーセは、彼らのために深い関心と愛をいだいて嘆願しているうちに、臆する気持ちがなくなった。主は、彼の願いに耳を傾け、彼の無我の祈りをお聞きになった。彼は、そのしもべを試みられたのである。神は彼の忠実さと彼があやまちに陥り、恩を忘れた人々を愛するかどうかを試みられた。そして、モーセは、その試練に耐えたのである。」（人類のあけぼの上巻 373, 375）

個人的な復習問題

1. モーセが出席した最初の学校は何でしたか。
2. 彼が出席した第二の学校は何でしたか。
3. 彼が出席した第三の学校は何でしたか。
4. モーセを生涯の働きのために教育するのに、これらの学校はそれぞれ、どのように必要でしたか。
5. 魂を勝ち取るのに成功するすべての人に問われる最初の質問は何ですか。

世界災害救済基金のために

真の宗教とは何でしょうか。「父なる神のみまに清く汚れない信心(宗教)とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まずに、身を清く保つことにほかならない」(ヤコブ 1:27)。世界災害救済基金は、最も困窮している人々―地震やハリケーンやほかの災害によって生じた衝撃的な経験を生き抜いた人々―を助けるための必要に応えます。本当に困っている人々を助けてくださいますか。



「わたしたちのタラントの合計額がどれくらいであろうと、一でも、二でも、五でも、わたしたちの金銭は一銭たりとも、虚栄や誇りや利己心のために浪費されてはならない。わたしたちの蓄えの一ドル一ドルには、神のみかたちと銘が刻印されている。神の世に養われるべき飢えた人々が、覆われるべき裸の人々が、救いのパンと水がないために滅びつつある魂がいるかぎりには、すべての不要な放縦、すべての余剰金は、貧しい者と裸の者のために訴えるのである。」(サインズ・オブ・タイムズ 1892 年 6 月 20 日)

世界災害救済基金は、この援助を調整する責任を持っています。そして完全なボランティア運営として、従業員も管理費用もなく、すべての献金が 100%、直接、総額的に福祉伝道へあてられます。世界災害救済基金の管理費用はすべて、教会の一般献金を通じてまかなわれています。これにより、世界災害救済基金は、集められたお金が一円まですべて最も必要としている人々のために用いられるのです。

スリランカにおける食物の配給から南インドの貧困救済まで、世界災害救済基金は、世界中に送金されてきました。この安息日には皆さんにもまた福祉伝道を助ける機会があります。「神が人にお委ねになった金銭は、人類を祝福するため、また苦しんだり困窮している人々の必要を緩和するために用いられるべきである。……神の賢明な摂理のうちに、絶えず彼らの前に自分たちの助けを必要としている人々が現われる。彼らは苦しんでいる人々を和らげ、裸の者に着せ、そしてつらく苦しい状況にいる多くの人々、すなわち自分たちの全精力を尽くして貧困家庭に陥らないよう自らと家族を守ろうと格闘している人々を助けるべきである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1898 年 1 月 4 日)

世界総会福祉支部

光を担う者となるために準備する (I)

「それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。全地はわたしの所有だからである。あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう。」(出エジプト記 19:5, 6)

「神はイスラエル民族をエジプトから連れ出し、神ご自身の所有の民となるための訓練を彼らになさった。イスラエル人を通して神は世界の人々を祝し、教えようとお望みになった。そしてこの目的のために最も適した食物を備えられたのであるが、それは肉でなく、マナ、すなわち『天のパン』であつた。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 287)

推奨文献：人類のあけぼの上巻 448-457

日曜日

1月26日

1. 危険な状況

- a. イスラエル人のどのような行動が、彼らはまだ光を担う者として神に用いていただく準備ができていなかったことを示しましたか (出エジプト記 16:2, 3)。

「[イスラエルの子ら] は困難に出会い、欠乏に耐えることが必要であつた。神は彼らを墮落の状態から引き出し、彼らが諸国民の中で尊敬される立場を占め、重要で神聖な責任を負わされるのにふさわしいものにしようとしておられた。もし彼らが、彼らのために神が行なわれたすべてのことを考えて神を信じていたら、彼らは、喜んで不便と欠乏と、実際の苦難にも耐えたのである。しかし、彼らは神の力の証拠を常に目で見ることができないかぎり、神に信頼しようとしなかった。」(人類のあけぼの上巻 337)

- b. 群衆のつぶやきに応じて、主はモーセを通じて、彼らのゆがんだ食欲を再教育するために、どのような指示をお与えになりましたか (出エジプト記 16:4, 12-15, 31, 35)。

2. 神のご計画

- a. 世の光となるために、わたしたちはつねに何を心に留めている必要がありますか(コリント第一 10:31)。エデンにおけるアダムとエバの本来の食事は何でしたか(創世記 1:29)。

「わたしは神が、ご自分の民をその最初のご計画、すなわち死んだ動物の肉で命をつながないようにとのご計画に連れ戻そうとしておられることを、幾度となく示された。神はわたしたちが人々によりよい道を教えるようぞんでおられる。……もし肉が廃されるなら、もし嗜好が肉食の方向に教育されなければ、もし果実や穀類を好むように勧められるなら、すぐに神が最初意図されたようになっていくのである。神の民は肉を一切用いなくなる。」(家庭の教育 412)

- b. イスラエルは世に対して光を担うために神によって選ばれた国民として、つねに何を記憶しているべきでしたか(申命記 6:24; 7:6)。

「神は、イスラエルの人々を、純潔で清く幸福な国民として、カナンに確立させるためにエジプトから連れ出されたのである。この目的を達成するために、神は彼らに訓練の過程をお与えになった。それは彼ら自身のためであるとともに、彼らの子孫のためであった。彼らが神の賢明な制限に従って、快く食欲を制したのであれば、彼らのうちには、衰弱と病気はなかったことであろう。……しかし、神の制限と要求に快く従わなかったことが大きな理由となって、彼らは神が望まれた高い標準に到達できず、神が与えようとしておられた祝福を受けることができなかった。」(人類のあけぼの上巻 451)

- c. なぜサタンはイスラエル人の心をかたくなにし、彼らが「禁じられたものを、ほしがるように」させましたか(詩篇 78:18)。

「サタンは、こうした制限が不正で残酷なもののように人々に思わせた。サタンは、禁じられたものを、人々がほしがるようにしむけた。なんの制限もなく食欲をほしのままにすれば、肉欲にふけりやすくなるのをサタンは知っていた。こうして、人々はたやすく彼的手中に陥った。病気と不幸の創始者は、最も成功をおさめる場所で人々を攻撃する。サタンは、エバに禁断の実を食べるように誘惑してからこのかた、主として食欲への誘惑によって、人々を罪に陥れた。」(同上 450)

3. 公然とした反逆

- a. シナイ山から出発してすぐに、イスラエルの子らは何をしましたか。また神はどのように応じられましたか (民数記 11:1)。
- b. なぜ神はこの時に、彼らのつぶやきを反逆の罪とみなされたのですか (詩篇 78:17, 18; ヘブル 10:26)。

「紅海からシナイへ行く旅の途中には、つぶやきと騒ぎがたびたび起こった。しかし、神は、彼らの無知と盲目をあわれまれて、彼らの罪をすぐに罰することをなさなかった。しかしそのことがあった後で、神は、ホレブでご自分を彼らにあらわされた。彼らは大きな光を受けていた。彼らは、神の威光と力とあわれみの証人となったからであった。そのため、彼らの不信と不満は大きな罪となるのであった。そればかりでなく、彼らは、エホバを王として受け入れ、その権力に従うことを誓っていた。彼らのつぶやきは、今となつては反逆であった。イスラエルを無政府と滅亡とから守ろうとするなら、これは、反逆として直ちに厳罰が与えられなければならない。『主の火が彼らのうちに燃えあがつて、宿営の端を焼いた』(民数記 11:1)。つぶやいた者のなかの最も罪深い人々は、雲の中からのいなびかりによって死んだ。」(人類のあけぼの上巻 451, 452)

- c. 生き残った人々は、どのように自分たちの反逆を続けましたか (民数記 11:4-6)。

「ところが、間もなく、つぶやきは以前よりもひどくなった。この恐ろしい刑罰は、生き残った人々にへりくだりと悔い改めの心を起こさせるところか、ますます彼らのつぶやきを増す一方に思われた。目をどこに向けても人々が天幕の戸口に集まって、泣きわめいていた。……こうして、彼らは創造主がお与えになった食物に不満の声をあげた。しかし彼らは、その食物が彼らに適したものである証拠を常に目の前に見ていた。彼らは困難に耐えていたにもかかわらず、全部族の中でだれひとりとして、からだの弱った者は出なかったのである。」(同上 452)

「一人びとりの魂は試みられ、テストされる。すべての人は自分たちが神の御霊の警告、譴責、そして嘆願をどのようにに取り扱うかに気をつけなさい。光が自分の傾向にあわないからという理由でそれを拒む人々は、自分の愛するもの—自分たちを神の恩寵から引き離すもの—を選ぶために闇に取り残される。」(レビュ・アンド・ヘルド 1883 年 10 月 16 日)

4. モーセ、助けを求めて嘆願する

- a. この危険な状態に悩み、モーセは主にどのような嘆願をしましたか（民数記 11:11-15）。神は今、モーセのためにどのような備えをなさいましたか（民数記 11:16）。

「主は、モーセが自分と責任を分担するために、最も忠実で有能な人々を選ぶことをお許しになった。それは、彼らの影響によって、人々が乱暴を働くのを防ぎ、反乱をしずめることができるようにするためであった。しかし、この人々が役職についたために、後で、重大な弊害が起こることになった。もしも、モーセが神の力と恵みの証拠に対して、それにふさわしい信仰をあらわしていたならば、この人々は選ばれなかったことであろう。」（人類のあけぼの上巻 454）

- b. 民のつぶやきに対して答えるよう、何がモーセに指示されましたか（民数記 11:18-20）。
- c. 主はどのようにモーセの信仰の欠如と不満を譴責なさいましたか（民数記 11:21-23）。
- d. 神は今、民にその欲のために肉の食物を備えられましたが、彼らはどのようにその反逆を罰せられましたか（民数記 11:31-33; 詩篇 106:13-15）。

「神は、人々があまりにもほしがるために、彼らのために、最善のものではなかったが、お与えになった。彼らは、自分たちのからだのためになるものでは満足しなかったのである。彼らの反逆的欲求は満たされたけれども彼らは、そのために苦しまなければならなかった。彼らは、食べたいだけ食べた。彼らの不節制は直ちに罰せられた。『主は非常に激しい疫病をもって民を撃たれた』（民数記 11:33）。多くの人が熱病で倒れた一方、彼らの中の最も罪深い人々は、彼らがほしがった食物を口にすやいなや、打たれた。』（同上 457）

5. 光か闇かを選ぶ

- a. 神は一度も光を見たことのない人々、すなわちご自分のみ旨を知らなかった、あるいはそのご計画を理解したことのない人々を、どのように扱われますか（使徒行伝 17:30）。

「もし光がもたらされ、その光がわきに捨てられたり、拒まれたりするなら、そのとき非難と神のご不興が訪れる。しかし、光がもたらされる前は、罪はない。なぜなら、彼らに拒む光がないからである。」（教会への証 1 巻 116）

- b. しかしながら、神のみ旨が自分たちに明らかにされた後で、このお方に従うことを拒む人々は、どのように扱われますか（ルカ 12:47, 48; ヤコブ 4:17; サムエル記上 15:23）。

「〔多くの人〕は、主の要求の一部を信じて従うことを拒んでいるにもかかわらず、形式的な礼拝は熱心に続けている。こうした礼拝には、神の霊の応答がない。もし人々が、神の戒めの一つを故意に犯し続けているならば、彼らがどんなに熱心に宗教の儀式を守ったとしても、主は、それをお受けになることができない。」（人類のあけぼの下巻 307）

個人的な復習問題

1. 神の健康再教育計画に対するイスラエルの反応はどのようなものでしたか。
2. 神はこのつぶやきを、なぜ反逆とみなされたのですか。
3. 神はどのように彼らに望む食物をお与えになりましたか。
4. 神は真理を正直に知らなかった人々を、どのように扱われますか。
5. 神はご自分の明らかにされたみ旨に、意図的に従わない人々を、どのように扱われますか。

光を担う者となるために準備する (Ⅱ)

「わたしはわが民のわたしに聞き従い、イスラエルのわが道に歩むことを欲する。わたしはすみやかに彼らの敵に従え、わが手を彼らのあだに向けよう。」(詩篇 81:13, 14)

「この〔改革の〕働きの重責を担う人々は、悪が行われる時に沈黙したり、偽りの愛という衣で、罪惡を覆ったりはしないのである。」(国と指導者下巻 275)

推奨文献：キリストの実物教訓 165-169

日曜日

2月2日

1. 低い標準から高い標準へ

- a. 世の光としてイスラエルをカナンに確立する神のご計画において、もし彼らが自分たちをアダムの本来的の食事に戻るよう導かれるという神のご目的を歓迎していたなら、どのように助けを受けたはずでしたか(詩篇 78:23-25; 81:13, 14)。

「性質を変え、より高い思いの能力を活発な働きへ導くために、〔主は〕彼らのうちから死んだ動物の肉を取り除かれた。このお方は彼らに天使の食物、天からのマナをお与えになった。」(SDA バイブル・コメント [E.G. ホット・コメント] 1 巻 1113)

- b. 創世記 9:3; 18:7; 27:9 において、洪水後、一時的に肉食が許されていたのですが、なぜイスラエルの子らは肉を要求して罰せられたのですか(民数記 11:33; 詩篇 78:27-32; 106:14, 15)。

「義務をはっきり示されたとき、それを実行しなくてもよいという許しを受けるために、神に祈ろうなどと思ってはならない。かえって謙虚なへりくだった心をもって、その要求を履行するために、神の力と知恵を求めるべきである。」(人類のあけぼの下巻 48)

2. かたくなな心に対する寛大さ

- a. 主はご自分の民がより高い標準を受け入れる準備ができていないときに、ある面において、どのように彼らを導くにあたって忍耐と寛容を働かされましたか（詩篇 81:11, 12; エゼキエル 14:4, 5）。
- b. 「心がかたくな」ために、神はついにイスラエルが何を食べることを許されましたか。神は健康上の理由から、その許可にどのような制限を設けられましたか（レビ記 11:1-4, 9, 10; 3:17; 22:8）。

「イスラエル民族がカナンに落ち着くと肉食が許されたが、その悪い結果を少なくするため、細心な制度が設けられた。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 287,288）

- c. 神は彼らがより高い標準を受け入れる準備ができていないときに、モーセが彼らにどのような種類の定めとおきてを与えることをお許しになりましたか（エゼキエル 20:23-25）。どの勧告を、教会の指導者や伝道者は常に心に留めているべきですか（ヨハネ 14:17; 16:13）。

「わたしたちはともに連れて行こうとする人々の良心と知性が、わたしたちの擁護する真理を納得することのできる以上の速さで進んではならない。わたしたちは人々がいるところで彼らに会わなければならない。わたしたちのうちのある者は、健康改革においてわたしたちの現在の立場に至るまでに長い年月を要した。食事の改革を達成するのは遅い働きである。わたしたちは強力な食欲に対処しなければならない。なぜなら、世は暴飲暴食に渡されているからである。もし自分たちが改革において現在のより進んだ状態に至るまでに要した時間を人々に許すとすれば、わたしたちは彼らがわたしたちと同様に一步一步前進することを許し、ついに彼らの足が固く健康改革の土台に確立されるまで、彼らに対して非常に忍耐強くあるはずである。しかし、速く前進することによって、自分たちの歩みを引き返さなければならないように、非常に気をつけるべきである。改革において、わたしたちは目標よりも一歩行き過ぎるよりは、一歩足りない方が良い。そしてもし過ちがあるとすれば、民の側にあるようにしなさい。」（教会への証 3 巻 20, 21）

3. カナンに入る前に

- a. イスラエルがカナンに入る前に、彼らが世の光となる資質を得るために、本来の食事以外に、どの重要な本来の制度が、彼らのうちに回復されなければなりませんでしたか。

1) 神の休息—安息日（創世記 2:2, 3; 出エジプト記 16:29, 30; ヘブル 4:1-3, 9-11）。なぜ彼らは（字義的にも霊的にも）完全な意味において神の休息に入ることができなかったのですか（ヘブル 3:18, 19）。

2) 結婚制度 モーセは結婚の回復を望んでいたにもかかわらず、なぜ彼の努力は成功しなかったのですか（マタイ 19:4, 7, 8. エゼキエル 20:25）。この点に関して後にどのような努力が払われましたか（マラキ 2:14-16）。

- b. 昔のイスラエルの心のかたくなさを考えるときに、わたしたちはときどきどのように彼らの例を繰り返すように誘惑されますか。

「イスラエルの荒野生活の歴史は、世の終わりの神のイスラエル人の益のために記録された。荒野の放浪者たちがあちこちへさまよって、飢え、かわき、疲れたときに、彼らの救済のために神の力がいちじるしくあらわれたことなどの神の行為の記録は、すべて各時代の神の民に対する警告と教えに満ちている。ヘブル人のいろいろな経験は、彼らがカナンの約束の地へはいるための準備の学校であった。神は、今日の神の民が、古代イスラエル人の経験した試練を、へりくだった心と教えを受ける精神をもってふりかえり、天のカナンにはいる準備に役立てるように望んでおられる。

イスラエル人の経験をふりかえてみて、彼らの不信とつぶやきに驚き、自分たちであつたら、あんなに忘恩的にはならなかつただろうと思う人たちが多し。しかし、彼らの信仰がちょっとした試みによってためされてさえ、彼らは古代イスラエルと同じように信仰も忍耐も發揮しないのである。苦境に陥ると、彼らは神が彼らをきよめるために選ばれた道についてつぶやく」（人類のあけぼの上巻 338）

4. 新地のための準備

a. 終わりの時にあたり、わたしたちが天のカナンに入る前に、神の本来の制度は完全に回復されるべきですか（マタイ 17:11; 使徒行伝 3:20, 21）。それらは何ですか。

- 1) 神の休息、安息日 イザヤ 56:1, 6-8; 58:12-14
- 2) 結婚制度 コリント第一 7:1, 2, 10, 11, 24, 29, 39
- 3) アダムとエバに指定された本来の肉のない食事 コリント第一 10:5, 6, 11; イザヤ 22:12-14

「終末時代に、神のすべての制度が回復される。人間が安息日を変更したときにできた、律法の破れが回復される。神の残りの民は改革者として世の前に立ち、神の律法がすべての永続的改革の基礎であって、第四条の安息日は創造の記念であり、常に神の力を思い起こさせるものであることを、示さなければならない。彼らは明白な言葉で、十誡のすべての戒めに服従する必要を示さなければならない。彼らはキリストの愛に動かされて、キリストと共に力を合わせて、荒れすたれた所を復興しなければならない。彼らは、破れを繕う者、市街を繕って住むべき所となす者、とならなければならないのである。」（国と指導者下巻 277, 278）

b. 神のご計画において「すべての聖なる制度が回復される」べきことを理解するとき、世に最後の福音のメッセージを伝える人々はどうのように描写されていますか（イザヤ 58:12; 61:4）。

「広く一般が真理と正義から離反しているときに、神の国の基礎である原則を回復しようとする人々のことを、預言者〔イザヤ〕はここで描写しているのである。彼らは神の律法の破れを回復する人々である。」（同上 277）

「この群衆とは著しく対照的に、神への忠誠からそれることのない小さな群れがいる。『ここに、神の戒めを守り、イエスの信仰を持ちつづける聖徒』がいる（黙示録 14:12）。イザヤが語ったのは彼らのことである。『あなたの子らは久しく荒れすたれたる所を興し、あなたは代々やぶれた基を立て、人はあなたを「破れを繕う者」と呼び、「市街を繕って住むべき所となす者」と呼ぶようになる』（イザヤ 58:12）。」（サインズ・オブ・タイムズ 1910 年 2 月 8 日）

5. 「われわれはその声を聞きました」

- a. シナイ山から神の託宣をわたしたちに与えるために下ってきた御使はだれでしたか (使徒行伝 7:37-39; 3:22, 23; コリント第一 10:1-4)。
- b. わたしたちはキリストがこの世に新しい宗教を紹介するために来られたのではなく、むしろサタンのをぎを通して失われていたものを回復するために来られたのだということが、どのようにわかりますか (ルカ 19:10; ヨハネ第一 3:8; マタイ 5:17)。

「贖罪の大いなる計画は、この世界を完全に神の恩寵のもとに引きかえす。罪によって失われたすべてのものが回復される。」(人類のあけぼの上巻 403)

- c. キリストと共に働く共労者として、わたしたちの経験と責任は何であるべきですか。ヨハネ 16:13 とアモス 4:12 を比較しなさい。

「わたしたちには、かつて死すべき人間にゆだねられてきたよりも偉大にして厳粛な真理がある。そしてわたしたちはこの真理を扱う方法に対して責任がある。わたしたちはみな魂を救うことに専念すべきである。わたしたちは、他の人々が真理を愛するようになし得ることをすべてなす一方で、自分自身の心と品性に真理の力を示すべきである。」(教会への証 5 巻 307)

個人的な復習問題

1. いつ、わたしたちは自分たちの前に明白な義務を見ますか。どのように応じるべきですか。
2. 神はご自分の民を導かれる際、彼らがより高い立場を取る準備ができていないときに、しばしば何をお用いになりますか。
3. 神がご自分の民をカナンへ導かれる前に回復したいと望んでおられる三つの本来の制度を挙げなさい。
4. わたしたちが天のカナンへ入る前に何が回復されるべきですか。
5. キリストは新しい宗教を紹介するためにこの世に来られたのですか、あるいは失われたものを回復するためですか。

神はイスラエルにつぶやきを やめるようにお教えるになる

「あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを導かれたそのすべての道を覚えなければならない。それはあなたを苦しめて、あなたを試み、あなたの心のうちを知り、あなたがその命令を守るか、どうかを知るためであった。」(申命記 8:2)

「イスラエルの子らはつぶやきと反逆の精神を抱いていたため、神が恵み深くも自分たちに授けてくださった祝福にさえ、過失を見出す傾向にあった。」(サインズ・オブ・タイムズ 1880 年 10 月 28 日)

推奨文献：人類のあけぼの下巻 30-36

日曜日

2月9日

1. 再びつぶやく
 - a. 荒野をめぐる旅路の終わりに向かいながら、イスラエルの民は、どのようになお神に対して、またモーセに対してつぶやきましたか(民数記 21:5)。
 - b. モーセはどのように彼らの不満が正当なものではないことを納得させようとしたか(申命記 8:3, 4, 14-16)。

「彼らは旅の間じゅう、毎日、神のあわれみ深い奇跡によって守護されていたのであった。彼らは、神が導かれるすべての道において、かわきをいやす水や、飢えを満たす天からのパンが与えられた。そして、昼は雲のかげ、夜は火の柱に守られて平和と安全が保たれた。彼らが岩山に登るときも、荒野のけわしい道をぬって進むときも、天使は彼らを守っていた。さまざまな困難にあったにもかかわらず、彼らのあらゆる隊列のなかにひとりの弱い者もなかった。彼らの足は、長い旅の間はれることもなく、彼らの衣服も古びなかったのである。」(人類のあけぼの下巻 31)

2. 青銅のへび

- a. 主は民のつぶやきに対して、どのような答えをお与えになりましたか（民数記 21:6）。

「〔イスラエル人〕は、神の力に保護されていたために、彼らを常に取り囲んでいく無数の危険に気づかなかったのである。彼らは、忘恩と不信のうちに死んでしまうと思っていた。そこで、主は、彼らに死がのぞむことをお許しになった。荒野にはびこっていた毒へびは、それにかまれると激しい炎症を起こして死ぬので、火のへびと呼ばれていた。神の保護のみ手がイスラエルから取り除かれると、多くの人々が毒へびにかまれた。」（人類のあけぼの下巻 32）

- b. 正当な理由もないのに不満を言っていたために、神が彼らに不満に思うことをお与えになったのだということを理解したとき、彼らは何をしましたか（民数記 21:7）。これはどのようにわたしたちのための教訓となりますか。

「こうして、宿営全体が恐怖と混乱に陥った。すでに死んだ人や、死にかけた人がどの天幕にも出た。だれひとり安全ではなかった。……すべての者は患者の看護をしたり、あるいは、まだかまれていない者たちを保護しようとして必死に努めていた。いま、彼らのくちびるからは、つぶやきの言葉は漏れなかった。今の苦痛と比べるならば、これまでの彼らの困難や試練は、全くとるに足りないもののように思われた。

人々は、今、神のみ前にへりくだった。彼らは、モーセのところに来て告白し、嘆願して言った。『わたしたちは主にむかい、またあなたにむかい、つぶやいて罪を犯しました』（民数記 21:7）。人々は、ついさきほどまで、モーセを彼らの最悪の敵とし、彼らのすべての困難と苦難の原因であると攻撃した。しかし、そういうことを言っているときでさえ、その非難が誤っていることを知っていた。そして真の苦難に直面したとき、彼らは、神にとりなすことができるただひとりの人、モーセのところに來た。」（同上）

「われわれは、自分たちの罪深さを見て失望し、自分たちには救い主がないとか、主は、われわれをあわれんでくださらないと考えて、恐れてはならない。彼は、今という今、われわれが力のないままの姿で主に近づき、救われるようにと招いておられる。」（同上 35）

3. 「見て生きよ」

- a. へびの問題を解決するために、モーセは何をするように命じられましたか。またその結果は何でしたか (民数記 21:8, 9)。

「青銅のへびの像を見上げてだけでいやされるということを信じようとしないう人もあった。そのような人は、不信仰のために滅びた。しかし、神が用意されたものを信じたものも多かった。父親、母親、兄弟、姉妹たちが、なんとかして苦しむ肉親の者や、瀕死の友人たちの生気のない目をへびに向けさせようと努めた。たとえどんなに弱り果てて、死にそうになっていても、もし彼らが一目でも見る事ができれば、完全にいやされるのであった。

人々は、それを見上げる者にこうした変化を起こさせる力が、青銅のへびにはないことをよく知っていた。いやしの力は、神からだけ来るものであった。知恵に富まれる神は、このような方法によって、ご自分の力をあらわされた。この簡単な方法によって、この苦難が、自分たちの罪のために起こったことを人々はさとらされた。それと共に、神に服従するならば、何も恐れることはないという保証が与えられたのである。なぜなら、神は、彼らを守られるからであった。」(同上 33)

- b. わたしたちの牧師は、今日、習慣的に不満を言う人々にどのような勧告を与えるべきですか (ピリピ 2:14; イザヤ 45:22; ペテロ第一 5:6, 7)。

「青銅のへびを掲げたことは、イスラエルに重大な教訓を教えるためであった。彼らは、その致命傷から自分を救うことができなかった。ただ神だけが彼らをいやすことがおできであった。しかし、彼らには、神がお備えになった方法に、信仰を表明することが要求された。生きるためには、見なければならなかった。神が、お受けになったのは彼らの信仰であった。そして、へびを見ることによって彼らの信仰が表わされた。へびそのものにはなんの力もなく、それがキリストの象徴であったことを、彼らは知っていた。こうして、キリストの功績に信仰をいだく必要が彼らに示された。…… (同上 33, 34)

「罪人は、自分自身を救うことはできない。しかし、救いを得るためには、彼のなすべきことがある。『わたしに来る者を決して拒みはしない』とキリストは言われる (ヨハネ 6:37)。われわれは、彼のところに来なければならぬ。そして、罪を悔い改めるときに、キリストはわれわれを受け入れ、ゆるしてくださることを信じなければならない。信仰は、神の賜物である。しかし、信仰を働かせる力は、われわれに与えられている。信仰は神の恵みとあわれみの招待を、魂が把握する手である。」(同上 34, 35)

4. 「この名を別にしてはない」

- a. 青銅のへびに関連して、イエスをご自分の弟子たちの間におられたときに教えられたどの教訓が非常に明白になりましたか (ヨハネ 3:14-17)。

「この地上に生を受けたものはみな、『悪魔とか、サタンとか呼ばれ』た『年を経たへび』の毒牙にかまれた (黙示録 12:9)。罪の致命的結果は、神がお備えになった方法によってのみ除くことができる。イスラエルの人々は、上げられたへびを見ることによって救われた。こうしてながめたことは、信仰を意味していた。彼らは神の言葉を信じ、神が彼らの回復のためにお備えになった方法に信頼したから、生きたのである。そのように、罪人は、キリストを仰ぎ見て生きることができる。罪人は、贖罪の犠牲を信じる信仰によって許しを受ける。命のない動かないへびとは違って、キリストは悔い改める罪人をいやす力と功績を、ご自身のうちに持っておられる。」 (人類のあけぼの下巻 34)

- b. だれを通してのみ、恵みの契約の祝福はわたしたちのものとなることができますか (ヨハネ 6:37; 使徒行伝 4:12)。

「われわれを恵みの契約の祝福にあずからせるのは、キリストの義にほかならない。これらの祝福にあずかるうと長く望んで努力したものが多くあったが、受けることができなかった。というのは、何かをすることによって自分たちをその恵みにあずかる価値のあるものにすることができるという考えを、彼らがいだいていたからである。彼らは、イエスが満ちあふれる力をもった救い主であることを信じて、自分から目を離すことをしなかった。われわれは、自分たち自身の功績が、われわれを救うと考えてはならない。キリストが、われわれの救いの唯一の希望である。……

われわれが神に全く信頼し、罪をおゆるしになる救い主としてイエスの功績によりたのむならば、希望するすべての助けを受けることができる。あたかも自分自身を救う力が自分にあるかのように、自分をながめないことにしよう。われわれには、そうする力が全くないのであるから、イエスは、われわれのために死なれた。彼のうちにわれわれの希望、われわれの義、われわれの正義がある。われわれは、自分たちの罪深さを見て失望し、自分たちには救い主がないとか、主は、われわれをあわれんでくださらないと考えて、恐れてはならない。彼は、今という今、われわれが力のないままの姿で主に近づき、救われるようにと招いておられる。」 (同上 35)

5. 歴史は繰り返す

- a. なぜ、またどのように多くのイスラエル人は彼らがへびに襲われたときに神が送られた助けを受けることをためらったのですか（ヘブル 3:9, 17-19）。

「多くのイスラエル人……は、いやしが瞬間的に与えられるのであったが、彼らは、その傷の痛みと、刻々と迫ってくる死とを悲しみ続け、ついに、その力はつき果て、目は光を失った。」（人類のあけぼの下巻 35, 36）

- b. わたしたちはどのようにイスラエル人の例に倣わないよう警告されていますか（ヘブル 3:7, 8, 12-14）。

「救いの計画の神秘が、ことごとく明らかにされるのでなければ、キリストを受け入れようとしなない者が多い。すでに幾千という多くの人々が、キリストの十字架をながめ、そして、ながめることによって、力を得たことを知っていながらも、彼らは、信仰をもって見ようとしなない。多くの者は、哲学の迷路にさまよい、理由や証拠を発見しようとするが見つからない。彼らは、神がお与えになった証拠を拒んでいる。彼らは、義の太陽の輝きの理由が説明されるまでは、その光の中を歩こうとしなない。このようなかたくなな人はみな、真理の知識を得ることはできない。神は、疑惑の種を全部取り去ってしまわれなない。神は信仰を持つだけの十分の証拠をお与えになる。そして、人がそれを受け入れなければ、人の心は暗黒に閉ざされる。もしも、へびにかまれた人々が、見ることを承知する前に、疑ったり質問したりしていたならば、彼らは死んでしまったことであろう。まず、見ることがわれわれの義務である。そして、信仰をもって見るのが、われわれに命を与えるのである。」（同上 36）

個人的な復習問題

1. カナンの境界に近づいているときに、なおイスラエル人が不満を言っているとき、主は彼らにどの教訓をお教えになりましたか。
2. 習慣的につぶやく人々にどの勧告が与えられるべきですか。
3. 悔い改める罪人はどのように癒されることが出来ますか。
4. へびにかまれたことに対する神の助けを受けることをためらった人々に何が起こりましたか。
5. 今日、わたしたちのうちどれくらいの人が、イスラエル人の例に倣っていますか。

カナンの境界から学ぶ伝道における教訓

「だから、聖霊が言っているように、『きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、荒野における試練の日に、神にそむいた時のように、あなたがたの心を、かたくなにしていけない。』（ヘブル 3:7, 8)

「人が自分の心を不信に明け渡してしまうとき、自らをサタンの支配下に置くのである。そしてだれもサタンが彼らをどこまで導くのか言うことができない。」(ビュ・アンド・ハルト 1903 年 10 月 29 日)

推奨文献：人類のあけぼの上巻 463-475

日曜日

2月16日

1. 厳しく試された信仰

- a. どの報告が、イスラエルの子らによる信仰の欠如を表していましたか。またそれはなぜですか (申命記 1:21; 民数記 13:1, 2, 17-20, 27-32)。

「人々は落ちついて反省しようとしなかった。ここまで彼らを導かれたおかげで、必ずこの土地をお与えになることを彼らは考えなかった。神がどんなに驚くべき方法で、海を開いて道となし、パロの追跡軍を滅ぼして、圧制者より救ってくださったかを、彼らは思い起こさなかった。彼らは、神を考えに入れなかった。そして、ただ武力だけに頼っているかのように行動した。」(人類のあけぼの上巻 465, 466)

- b. イスラエル人はどのように、その不信によって地を取る準備ができていないことを示しましたか (申命記 1:26; 民数記 14:1-4)。今日、どのように不信は、伝道を妨げていますか (ヘブル 3:16-19)。

「不忠実な斥候の偽りの報告が受け入れられ、それによって全会衆が欺かれた。……正しい側に立った者はただふたりで、十人は反逆の側についてしまったのである。」(同上 468, 469)

2. 「わたしから離れては、あなたがたは何一つできない」

- a. 神はモーセのイスラエルを思う愛を、どのようにもう一度試されましたか（民数記 14:11, 12, 19, 20）。どのように真に魂を勝ち取る人は、罪人のために嘆願しますか（ヨエル 2:17）。
- b. モーセが彼らの主の決定を伝達したとき、民の反応はどのようなものでしたか（民数記 14:33-35, 39, 40）。

「主は、『上って行って戦え』とはお命じにならなかった。彼らが戦って国を獲得することは、神のみこころではなかった。それは厳格に神の命令に従うことによって行なわれるべきであった。

人々の心に変化はなかったけれども、彼らは、斥候たちの報告を聞いて、反逆した自分たちの罪深さと愚かさを告白するに至った。ここで彼らは自分たちが軽率に投げ捨てた祝福の価値を認めた。彼らがカナンにはいれないのは、自分自身の不信のためであることを告白した。」（人類のあけぼの上巻 472）

- c. イスラエル人がカナンの征服を試みたとき、何が起こりましたか。またそれはなぜですか（民数記 14:41-45）。わたしたちは、どのように彼らの過ちを繰り返すように誘惑されるかもしれませんか（ヨハネ 15:5）。

「〔イスラエル人〕は、彼らと力を合わせて、カナンを占領するために働いてくださる神の力に信頼しなかった。それにもかかわらず、今度は神の助けを受けずに、自分たちの力だけで、その仕事をなしとげようとしたのである。『われわれは主にむかって罪を犯しました。われわれの神、主が命じられたように、われわれは上って行って戦いましょう』と彼らは叫んだ（申命記 1:41）。彼らは、罪の結果、これほどまでに恐ろしく盲目になっていた。主は、『上って行って戦え』とはお命じにならなかった。彼らが戦って国を獲得することは、神のみこころではなかった。それは厳格に神の命令に従うことによって行なわれるべきであった。」（同上）

3. 40 年後、カナンにおける初期の伝道

- a. 40 年後、エリコの征服のための準備において、ヨシュアは何をしましたか。また、それはなぜですか (ヨシュア 2:1 (上旬))。

「〔ヨルダン〕川の数マイル向こう側で、イスラエル人が宿営している場所のちょうど反対のところに、強大な要塞都市エリコがあった。この都市は、事実上全土を攻め取るかぎであり、イスラエルの勝利の前に立ちはだかる、侮りがたい障害であった。そこで、ヨシュアは、ふたりの若者をつかわして町を偵察させ、その住民の数や、資源、また要塞の強固さなどを確かめさせた。」(人類のあけぼの下巻 101)

「エリコを攻め取るにあたって、イスラエル軍の一人たりとも、町の城壁を崩壊するのに自分の有限な力を働かせたと自慢できないのであった。そうではなく主の軍勢の将は、主のみが栄光を受け、人は高められないように、最高の単純さをもって戦闘を計画された。」(SDA バイブル・コメント [E.G. ホット・コメント] 2 巻 995)

- b. 二人の斥候はどのような危険にさらされましたか。まただれが彼らをかくまいましたか (ヨシュア 2:1 (中旬) , 2)。

「恐怖と疑惑をいだいた〔エリコの〕町の住民は、常に警戒体制をとっていたので、ふたりの使者は大きな危険にさらされた。」(人類のあけぼの下巻 101)

- c. ラハブの報告により、彼女と一般の人々は、神のみ力についての知らせがエリコに届いたときに、どのように反応しましたか (ヨシュア 2:9-11)。

- d. 斥候たちはどのような報告を持ってきましたか。その結果は何でしたか (ヨシュア 2:22-24)。

「今や前進の準備をととのえるようにという命令がくだされた。民は三日分の糧食を用意し、軍勢は戦闘の用意をしなければならなかった。すべての者がヨシュアの計画を心から受け入れ、信頼と支援を誓った。」(同上 102)

4. 失われた者を探して、戸ごとに

- a. ラハブの家に二人の斥候を向かわせた神の主なご目的は何でしたか（ヨシュア 2:12-16; ヘブル 11:31）。

「イスラエルが神のご品性をあらわすことによって人々が神に引きつけられることが神のみ旨であった。全世界に福音の招きが与えられなければならなかった。犠牲制度の教えを通してキリストは諸国民の前に掲げられ、それを見あげる者はすべて生きることがのできるものであった。カナンびとラハブやモアブびとルツのように、偶像礼拝からまことの神の礼拝へ立ち帰った者はみな、神の選民に加えられるのであった。」（キリストの実物教訓 268）

- b. 神の御霊は、どのようにペテロを、貴重な魂が「主に加」えられるために待っていた異邦人の家へ向かわせましたか（使徒行伝 10:11-15, 19-28）。

「人々の近くに來なさい。できるときには、家庭に入りなさい。民が羊飼いを捜し出すのを待つてはならない。あなたが無駄話ではなく、明白な『主はこう言われる』に信頼していることを示す信仰の確信と保証を担っていないさい。……」

多様なキリストの恵みの管理者たちが家庭に入り、そして聖霊を授けられることによって聖化された熱心な伝道によって障壁を打ち壊し、人々の心に入るのではないかぎり、神のみ言葉の真理が伝えられることのない家族が数多くある。人々がこれらの働き人たちが憐れみの使命者であり、恵みの牧師であることを悟るとき、彼らによって語られる言葉を聞く用意ができる。しかし、この働きをする人々の心はキリストの心と一致して脈打たなければならない。彼らは全的に神の奉仕に献身し、このお方のご命令を行ない、このお方のみ摂理が導くところへはどこへでも行き、このお方が自分たちに語ってくださったみ言葉を語る用意ができていなければならない。」（伝道 158, 159）

- c. ノアの時代とソドムにおけるロトの時代と、エリコの最後の時代の比較によって、どのような事実が明らかになりますか（ルカ 13:23, 24; ペテロ第二 2:5-9; ヨシュア 6:17）。

5. 「……信じる者はだれでも」

- a. マタイ 21:28-31 でキリストが祭司長たちや民の長老たちを譴責なさったとき、それはどういう意味でしたか。

「救い主は、いかに罪に落ち込んでしようと、喜んで天の尊い真理を受け入れる者を、決してお見捨てにならなかった。取税人や遊女にとって、主のみことばは新しい生涯の始めであった。」(祝福の山 161)

- b. わたしたちは伝道分野においてこのお方の模範に、どのように従うべきですか (マルコ 16:15)。

「罪におちいった人類への神の驚くべき愛を感謝するとともに、神の無限の富の中から、いつそう大きな祝福を受けることを待望していることを、わたしたちは世界と、そしてすべての天の住民たちに示さなければならない。わたしたちは今以上に、もっと自分のとうとい体験を語る必要がある。……

こうしたことは、サタンの力を後退させる。それはつぶやきと不平の精神を取り去り、誘惑者を退却させる。それは地上の住民の品性を天の邸宅を継ぐにふさわしく涵養する。

こうしたあかしは人々に感化を及ぼす。魂をキリストにかち取るのに、これ以上有効な方法はない。」(キリストの実物教訓 278, 279)

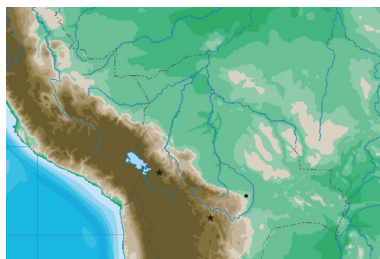
個人的な復習問題

1. イスラエル人は 12 人の斥候たちの報告を聞いたとき、どのように反応しましたか。
2. モーセは自分の愛がなおも民と共にあることを、どのように示しましたか。
3. 40 年後、なぜ 2 人の斥候だけが遣わされたのですか。
4. なぜ 2 人の斥候は、限定されたラハブの家へ導かれたのですか。
5. 今日、わたしたちの伝道者たちが救いを必要としている失われた人々を捜しているときに、しばしばどの歴史が繰り返されますか。

第一安息日献金

ボリビアのサンタクルス・デラシエラのための献金

ボリビアは南アメリカの中央に位置する内陸の国です。民主主義共和国で人口はちょうど 1000 万を超えるくらいです。人口は多文化的で、アメリカ先住民、混血人、ヨーロッパ人、アジア人、アフリカ人がいます。主な言語はスペイン語 (88%) で



すが、ケチュア語 (28%)、アイマラ語 (18%)、そしてグアラニ語 (1%) も共通語です。これらの言語は、34 の土着の言語とともに公用語です。

ボリビア国家統計局によって行なわれた 2001 年の調査によりますと、ボリビアの人口の 78% がローマカトリック、19% がプロテスタント、そして 3% が様々なクリスチャン信仰を持っています。

改革のメッセージがボリビアに来たのは、1940 年から 1950 年の間です。真理のメッセージは新しい信徒を得、礼拝の家を建設することが緊急に必要になりました。その時、主がサンタクルス・デラシエラの町にいる貴族の兄弟の心にふれてくださり、町の中心部の自分の土地の一角を主のための聖所を建設するために捧げる決心をしました。1965 年～1966 年の間に、ブラジルからの兄弟の働き人がボリビアに来て、大変な献身と努力と、わずかな地元の信徒たちの継続的な援助をもって、小さな宮を建設し始めました。その当時プロジェクトは大きすぎるように見えました。

しかし、ほぼ 50 年すぎて、ボリビアでの働きは神の恵みによって成長し、礼拝のためのもともと聖所は今や増築される必要があります。同じ土地に地元のフィールドと連合総会の本部のための建物も建設する必要があります。

ここボリビアにいる兄弟姉妹は、この国における神様のみ事業の発展のために捧げる皆さんの惜しみない献金にさきだって感謝いたします。

敬具

ボリビア連合の兄弟姉妹より

バラム

「〔バラムは〕自分のあやまちに対するとがめを受けた。ものを言わないろばが、人間の声でものを言い、この預言者の狂気じみたふるまいをはばんだのである。」(ペテロ第二 2:16)

「悪の一歩は、次の一歩をたやすくする。〔男女〕は、ますます僭越になる。彼らはひとたび貪欲と権力欲に支配されると、どんな恐ろしいことでも、あえてするようになる。」(人類のあけぼの下巻 46)

推奨文献：人類のあけぼの下巻 44-64

日曜日

2月23日

1. 闇の力からの助けを懇願する

- a. イスラエル人がカナン侵略のためにヨルダン川を渡る準備をしていたときに、だが、エリコの住民の他に、彼らの存在に悩んでいましたか (民数記 22:1-4)。

「モアブ人はパロのように、魔術の力を借りて、神の働きに立ち向かおうとした。彼らは、イスラエルをのろおうとした。」(人類のあけぼの下巻 46)

- b. モアブ人とミデアン人の指導者たちは、予期される攻撃を制圧するための自分たちの努力に、だれも動員しようとしませんでしたか。また彼らは彼に何をするように頼みましたか (民数記 22:5-7)。

「メソポタミヤの住人バラムは、超自然的能力の持ち主として知られ、その評判はモアブの地にまで聞こえていた。……彼に、イスラエルをのろい、魔法をかけてもらうために、……使者たち……がつかわされた。」(同上 45)

2. 背信した預言者

- a. モアブとミデアンの死者たちが、バラク王の招待状を持ってバラムのところへ来たとき、バラムは彼らにどのような印象を与えようとしていましたか (民数記 22:8)。そうすることによって、バラムは故意に善悪の違いを無視しましたか。

「バラムは、かつては、善人であって、神の預言者であったが、背教して欲に目がくらんでいた。それでいてもなお自分はいと高き者のしもべであると自称していた。彼は、神がイスラエルのためになされたみわざについて無知ではなかったから、使者が用向きを伝えたとき、自分としては、バラクの報酬を拒み、使者を去らせるのが義務であることをよくわきまえていた。それにもかかわらず、彼はあえて誘惑に手を出し、主に勧告を求めるまでは、はっきりした解答を与えるわけにはいかないと言って、その夜は、使いの者たちを泊ませた。」 (人類のあけぼの下巻 45)。

- b. バラムは背信した預言者であったにもかかわらず、神は彼に御使を通して、どのような警告をお与えになりましたか。またなぜバラムはバラクの使者たちに語るときに、それを歪曲(わいきょく)したのですか (民数記 22:12, 13)。

「夜、神の使いがバラムを訪れ、こう伝えた。『あなたは彼らと一緒に行ってはならない。またその民をのろってはならない。彼らは祝福された者だからである』 (民数記 22:12)。

朝になってバラムは、不本意ながら使いの者たちを帰した。しかし、彼は主が言われたことは彼らに話さなか……った。

バラムは『不義の実を愛し』た (ペテロ第二 2:15)。神が、偶像であると言明されたむさぼりの罪によって、彼は日和見主義者となってしまった。この一つの過失によって、サタンは、彼を完全に支配するようになった。彼を破滅に陥れたのは、このむさぼりであった。」 (同上 46)

- c. 預言者であると主張する人々、また奇跡を行うと言う人々を試すべき霊的な原則にどのようなものがありますか (イザヤ 8:20; マタイ 7:20-23; ヨハネ 8:31, 32)。
- d. 神の羊飼いたちは、特に終わりの時代にどの危険を見抜くことができるべきですか (マタイ 24:23, 24)。真の羊飼いと雇人の違いの一つは何ですか (ヨハネ 10:12, 13)。

3. 厳しくテストされるバラム

- a. バラクの受けた報告は、まずバラムから使者へ、それから使者からバラクへと（民数記 22:14）、非常に歪曲されていたため、バラクの結論は何でしたか。また彼は何をしましたか（民数記 22:15-17）。

「預言者が来ることを拒んだことを、使いの者たちがバラクに報告したとき、彼らは、神がそれを禁じられたとは言わなかった。バラムは、もっと多くの報酬を得たために来ないのだと簡単に考えた王は、最初の者たちよりもっと身分の高いつかさたちを多く送って、さらに高い榮譽を約束し、バラムが命じることは何でも承認する権威を彼らに与えた。」（同上 47）

- b. 使者たちが二度目に背信した預言者のところへ来たとき、バラムはどのように応えましたか（民数記 22:18, 19）。

「バラムは、二度試みられた。彼は、使者の懇請に答えて、自分が非常に良心的で誠実であって、金銀がどんなに積まれても、神のみ旨に逆らって出かけることはできないことを強調した。しかし、彼は、王の求めに応じたいと願っていた。神のみ旨が、すでにはっきりと知らされていたにもかかわらず、彼は、使者たちに、しばらくとどまるように勧め、もう一度神に尋ねてみようと言った。彼は永遠の神を、あたかも人間のように説得できると思った。」（同上）

- c. 二度目のテストに失敗した後、バラムはどのような条件の下に彼らと一緒に行くことに許可を受けましたか（民数記 22:20）。彼らは彼を迎えにきましたか。

「バラムは、もしモアブの使者たちが朝のうちに彼を迎えに来るならば、彼らといっしょに行ってもよいという許可をうけた。」（同上 48）

4. バラムは神に怒る

- a. 主はバラムがご自分の教えを無視したために、どのように彼に対する怒りを示されましたか (民数記 22:21-27)。

「〔モアブの使者たち〕は、……〔バラム〕に相談せずに家路についてしまった。こうなつては、もう、バラクの求めに応じなければならない理由は、すべてなくなつてしまった。しかし、バラムは報酬を得ようと決心した。彼はいつも乗っている動物を引き出して出かけた。彼は今にも神の許可がとり去られはしないかと恐れた。彼は、欲した報酬を何かに妨げられて取りそこなうまいとあせりながらけんめいに道を急いだ。」(同上 48, 50)

「今日も、同様のことをするものが数多くいる。彼らは、自分たちの傾向と一致しているならば、どんな義務も困難なく理解する。それは、聖書が明らかにし、環境と理性も共にそれをはっきり示しているのである。しかしこうした証拠が彼らの欲望と傾向に反するものであるため、彼らは、しばしば、それをないがしろにして、神のみ前に出て、自分の義務を知ろうとする。彼らは、一見、非常に良心的にふるまい、光を求めて長い祈りをささげる。しかし、神を軽んじることはできない。神は、そのような人々が、欲望のままに行なつて、その結果、苦しむことをお許しになることがよくある。」(同上 47,48)

- b. バラムの目が開かれたとき、何が起こりましたか (民数記 22:31)。主の御使は、バラムになんと言いましたか。またバラムの反応は何でしたか (民数記 22:32-34)。預言者はどのような制限を遺憾に思いましたか (民数記 22:35-38)。
- c. 背信した預言者がイスラエルにのろいを宣言することを妨げられたとき、彼は何を宣言せざるを得ませんでしたか (民数記 23:20-24)。
- d. 神はモアブの王や役人たちに福音を宣布するために、どのように背教の預言者でさえお用いになりましたか (民数記 24:4-9, 14-17)。悪い人によって自分たちに福音が宣布されたなら、神の御前に罪人には正当な言い訳がありますか (ピリピ 1:15-18)。

5. 信仰と憶測

- a. なぜ牧師は、平信徒よりも自分の言葉や行動に対して大きな責任があるのですか（マラキ 2:7-9; テモテ第一 4:16; コリント第一 11:1）。

「〔モアブ人〕が受けた光からすると、彼らの罪はバラムの罪ほど天の目に大きくはなかった。バラムは神の預言者であると言っていたのであるから、彼が語るすべてのことは、神の権威によって語られたものと受けとるべきであった。」（同上 48）

「だれかの魂の人生に危機が訪れ、あなたが勧告もしくは訓告を与えようとするとき、あなたの言葉は、あなた自身の模範と精神が、あなたのために得た分の善への感化力の重みしかもたない。……あなたは自分自身の心が神の恵みによって低くされ、練られ、やわらかくされない限り、他の人々を変える影響を及ぼすことはできない。」（伝道 458, 459）

- b. どのような環境下で、またなぜ主はしばしばご自分の僕たちが自分自身の道を行き、結果に苦しむことを許されますか（詩篇 81:11, 12; エゼキエル 14:4; ガラテヤ 6:7）。

「人が自らを聖霊の感化力以上に高めるとき、彼は悪の収穫を刈り取るようになる。そのような人に対してその人が不従順の種をまくことがないように抑制する聖霊の感化力はますます弱まっていく。」（バイブル・コメント [E.G. 訳] コメント 16 巻 1112）

個人的な復習問題

1. 神の僕であると公言する人が闇の力に向かって向きを変えるとき、彼はしばしば自分の真の特徴をどのように隠そうとしますか。
2. 神はバラムの心の中にあるものを明らかにするために、どのようになさいましたか。
3. わたしたちはどのように神の真理を歪曲する危険性がありますか。
4. 神はモアブの役人たちに光を降り注ぐために、どのように背信したバラムをお用いになりましたか。
5. なぜ神はしばしばわたしたち自身の道を行き、その結果に苦しむことを許されるのですか。

イスラエルにおける災難

「イスラエルはこうしてペオルのバアルにつきしたがったので、主はイスラエルにむかって怒りを発せられた。」(民数記 25:3)

「しかし、彼らの物理的な状況は好ましかったが、イスラエル人はここで、武装した強力な軍隊や荒野の野獣たちよりももっと致命的な悪に直面しなければならなかった。」(ザインズ・オブ・タイムズ 1880 年 11 月 18 日)

推奨文献：人類のあけぼの下巻 65-76

日曜日

3月2日

1. 予期しない敗北

- a. モーセがカナン侵略のためにイスラエル軍をつれてヨルダン川を渡ろうと準備していたあいだ、なぜ主の怒りがイスラエルに対して引き起こされたのですか (民数記 25:1-3)。
- b. この大きな悪の背後にいた首謀者はだれでしたか (黙示録 2:14; 民数記 31:15, 16)。

「バラムの提案によって、モアブの王は、〔モアブの〕神々をたたえる大祭を催すことにきめた。そして、バラムが、イスラエル人の参加を促すということがひそかに取り決められた。……〔イスラエル人の〕大ぜいの民が、彼と共に祭りを見物した。彼らは禁じられた場所に足を踏み入れ、サタンのわなに捕えられた。歌と踊りに浮かされ、異邦の女たちの美しさに魅せられて、彼らは主への忠誠心を捨ててしまった。一緒になって歓楽に身をゆだねるにつれて、酒が感覚をくもらせ、自制心を失わせた。情欲がすべてを支配し、みだらな思いで良心を汚した彼らは、勧められるままに、偶像にひざをかがめた。彼らは異教の祭壇に犠牲をささげ、最も墮落した儀式に参加した。」(人類のあけぼの下巻 66, 67)

2. どのように悪が抑圧されたか

- a. モーセとイスラエルの裁き人たちは、神の刑罰が取り除かれるまでに何をするよう命じられましたか (民数記 25:4, 5)。

「バラムのどのような魔術もイスラエルに対してなし得なかったことを、〔モアブ人とミデアン人〕のよしまな風習はなしとげた。つまり、彼らは、イスラエルを神から引き離したのである。直ちに襲った刑罰によって、人々は、自分たちの罪の大きさにめざめた。恐ろしい疫病が宿営に発生し、幾万の人々がたちまちのうちに、その犠牲になった。この背信の指導者たちは、さばきびとによって殺されなければならないと、神は、お命じになった。この命令は、直ちに実行された。罪人たちは殺され、その死体は全イスラエルの目の前につるされた。それは、会衆が、指導者たちの受けたきびしい刑罰を見て、彼らの罪に対する神の嫌悪と彼らに対する神の怒りの恐ろしさを痛感するためであった。」 (同上 67, 68)

- b. 民が涙を流し、自分たちの罪を告白しているあいだに、何が起こりましたか (民数記 25:6-8, 12, 13)。

「処罰の正しさをすべての者が認め、民は幕屋に急いで来て、涙を流し、心からへりくだった思いをいだいて、罪を告白した。幕屋の入口で、彼らがこうして神の前に泣いているとき、そして疫病がなお人々に死をもたらししていたときに、イスラエルのつかさのひとりであるジムリが、臆面もなく、『ミデアンの民の一族のかしら』の娘である遊女を伴って宿営にやってきて、彼女を自分の天幕に連れていった (民数記 25:15)。これほど大胆不敵な罪はまたとなかった。酒に酔いしれたジムリは、『ソドムのように』その罪をあらわして自分の恥を誇った (イザヤ書 3:9)。」 (同上 68)

- c. この疫病で神の手にかかって、何人が滅びましたか (民数記 25:9)。その後まもなく行われた人口調査により、さらに何が明らかにされましたか (民数記 26:1, 2, 63-65)。

「シッテムにおける罪のためにイスラエルにくだった刑罰は、40 年近く以前に、『彼らは必ず荒野で死ぬであろう』という宣告を受けていたあの大群衆の残存者を減ぼしてしまった。」 (同上 69)

3. 追加的な保護手段

- a. ミデアン人が最も墮落した神の敵、またもっとも危険なイスラエル人の隣人のうちにいましたが、モーセは何をするように命じられましたか（民数記 31:1-3, 8）。
- b. ご自分の民に害を加えようとする人々に対して、神は何をなさいますか（詩篇 94:1, 2, 20-23）。

「まどろむことがない神、常にそのご計画の完成のために働いておられる神が、ご自身の働きを押し進められるのである。神は悪人の目的をくじき、神の民に危害を加えようとする者の企てを混乱させられる。王であり、万軍の主である神は、ケルビムの間に座して、国家間の争闘と騒乱の中に、その子らを今なおお守りになる。天にあって支配されるかたはわたしたちの救い主である。」（祝福の山 152）

- c. 神はどの条件に基づいて、ご自分の民を守ると約束されましたか（申命記 28:1-7）。

「教会は、真理を宣べ伝えるための神の機関であって、特別の働きをする力を神から与えられている。もし教会が神に忠実であり、神のすべての戒めに従うなら、教会には神の計り知れない恵みが内住するであろう。教会が真実に神への忠誠をつくし、イスラエルの神、主をあがめるとき、どんな勢力もこれに対抗することはできない。……

教会が世に従うことをやめて、キリストの義の衣を着る時に、教会の前には、輝かしい栄光の日の夜明けがある。教会への神の約束は、永遠に強く立つであろう。神は教会をとしえの誇り、代々の喜びとなさる。真理は、それをさげすみ拒む人たちを通り過ぎて、勝利する。ときには一見妨害されたように見えても、真理の前進は決して阻止されたことがない。神のメッセージが反対に会うと、神はそのメッセージが一層大きな感化を及ぼすように、それに力をお加えになる。こうして聖なる力を備えた真理は、どんな堅固なとりでもつきぬけ、どんな障害にも勝利するのである。」（患難から栄光へ下巻 308, 310）

4. わたしたちの訓告のために

- a. なぜわたしたちは、特に、神のみ働きに参加するよう召されてきた人々は、イスラエルの歴史における浮き沈みを研究すべきなのですか（ローマ 15:4）。ヨルダン川でおきた背信は、なぜ特に注意に値するのですか。

「ミデアンの軍勢、また、魔術によっても征服されなかったイスラエル人は、ミデアンの遊女たちに負けてしまった。サタンに仕える女が魂をわなにかけて滅ぼす力は、こんなに強力なのである。……こうして、セツの子孫は誘われて誠実の道からそれ、清い人々は墮落した。ヨセフも、また、こうした誘惑を受けた。このようにして、サムソンは自分の力、イスラエルの守りをペリシテ人の手に渡した。この点においてダビデもつまずいた。また、三度にわたり神に愛された者と呼ばれた諸王の中の最も賢明な王ソロモンは情欲の奴隷となり、同じ魅惑の力のためにその誠実を犠牲にした。」（人類のあけぼの下巻 70）

- b. クリスチャンの最後の世代に、どの警告が述べられていますか（コリント第一 10:8, 11）。

「時が終わりに近づき、神の民が天のカナンの境界に立つとき、サタンは、昔と同じように、彼らをよい地にはいらせまいとして、いっそう努力する。彼はひとりひとりにわなをしかける。気をつけなければならないのは、無知で無教育な人々ばかりではない。彼は最も高い地位、最も聖なる職務の人々をも誘惑する。もし彼らをいぎなつてその魂を墮落させることができれば、彼らを通して多くの人々を滅ぼすことができる。そして彼は今も、三千年前に用いたのと同じ手段を用いる。この世の交わり、美貌の魅力、快楽の追求、歓楽、安楽、飲酒などによって、彼は第七条を犯させようとする。

サタンは、イスラエルを偶像礼拝に導くにさきだつて、みだらな生活にいぎなつた。神のかたちであるべき人間性をはずかしめ、自分自身のうちにある神の宮を汚す者は、下劣な心の欲望を満足させて神をどんなにはずかしめてもためらわない。官能の耽溺は精神を弱め、魂を墮落させる。」（同上 71）

5. 罪を犯す道が備えられた

- a. どのような状況が、イスラエル人がヨルダン川へ来たときに、サタンの好色な誘惑のわなに陥るように道を備えましたか（エゼキエル 16:49, 50）。

「イスラエル人が罪にいざなわれたのは、外面的には安楽で、安全な状態にあったときであった。彼らは、常に神を自分たちの前に置くことを怠り、祈りをおろそかにし、自負心をいだいた。安楽と放縦が魂のとりでを無防備にし、いやしい考えを起こさせた。原則という要塞をくつがえし、イスラエルをサタンの手に渡したのは、城壁の内部の反逆者たちであった。今なおこのようにして、サタンは魂の滅亡をはかっている。クリスチャンが公然と罪を犯すまでには、世間には知られない長い予備的な過程が心の中で進行している。精神は、たちまちにして純潔と聖潔から墮落と腐敗と犯罪へと急降下するのではない。神のかたちに造られた者を、獣、あるいは悪魔のかたちに墮落させるには時間がかかる。われわれは仰ぎ見ることによって変えられる。不純な思いにふけることによって、人間は、かつては嫌悪していた罪を快いものと思うようにもなることができる。」（人類のあけぼの下巻 73）

- b. わたしたちはいつもどの警告を心に留めているべきですか（コリント第一 10:12; ペテロ第一 5:8）。

個人的な復習問題

1. ヨルダン川を渡る直前にイスラエルでおこった大背信の背後にいた首謀者はだれでしたか。
2. イスラエル人がそのときに倒れる道は、どのように備えられましたか。
3. もっとも罪深い人はどのように罰せられましたか。
4. わたしたちはミデアン人に伝道する努力を払うことなく、彼らが滅ぼされた事実から、どのような教訓を学ぶべきですか。
5. 神の真の僕は、もしピリピ 4:9 にあるパウロの模範に従うならば、何とすることが出来ますか。

エリコの征服

「主はヨシュアに言われた、『見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたしている。』」(ヨシュア 6:2)

「〔エリコは〕異教のとりで、カナンのあらゆる偶像礼拝の形態の中で最も汚れ墮落していたアシタロテの礼拝の中心地」(国と指導者上巻 197)

推奨文献：人類のあけぼの下巻 109-116

日曜日

3月9日

1. 主の軍勢の将

- a. イスラエル人がヨルダン川の東岸に宿営していたときに、ヨシュアはエリコの征服を前に主の助けを求めています。彼が祈りから立ち上がったときに、だれを見ましたか (ヨシュア 5:13-15)。

「イスラエルの指導者の前に立ったのは、高められたおかた、キリストであった。」(人類のあけぼの下巻 110)

- b. このお方は彼にどのような指示をお与えになりましたか (ヨシュア 6:2-5)。キリストから与えられた以前のどの保証が、ヨシュアに自分の使命を実行するための勇気を与えましたか (ヨシュア 1:5, 6, 9)。

「ヨシュアは、神の命令に従ってイスラエルの軍勢を整列させた。……彼らはただ、神の箱をかつぎ、ラッパを鳴らして、町の周囲を巡るのであった。……栄光に輝く神の箱を、聖識にふさわしい衣服を身につけた祭司がかついで歩いた。そして、イスラエルの軍勢の各部族がそれぞれの旗をひるがえして従った。これが滅びる運命にあった町を取り囲んだ行軍であった。」(同上 110, 111)

- c. どの条件に基づいて、わたしたちは今日同じ慰めの保証を得ますか (マタイ 28:20; ヤコブ 1:5)。

2. 神の憐れみと正義

a. 第七日目に何が起こりましたか (ヨシュア 6:15, 16, 20, 21)。

「〔エリコの〕町の住民と、その中の命あるものは、『男も、女も、若い者も、老いた者も、また牛、羊、ろば』も、みなつるぎにかけられた (ヨシュア 6:21)。……町は焼き払われ、宮廷と寺院、豪華な住居とそのぜいたくな設備、きらびやかな織物と高価な衣服は焼かれた。火で焼くことのできないもの、すなわち『銀と金、青銅と鉄の器』は、幕屋の奉仕のためにささげなければならなかった (ヨシュア 6:24)。町のあった場所のはろわれた場所となり、エリコは、要塞として再建されてはならなかった。神の力によって崩壊された城壁を復興しようとする者があれば、その人の上に刑罰が下るのであった。……エリコの住民の完全な滅亡は、以前カナンの住民についてモーセを通して与えられていた命令の成就にすぎなかった。」 (人類のあけぼの下巻 112, 114)

b. かつてソドムの場合に主が示しておられたように (創世記 18:32)、主は義人を悪人と共に滅ぼすことをなさらないことを、どのようにもう一度示されましたか (ヨシュア 6:22, 23)。

「斥候の約束どおりに、忠実なラハブとその家の者だけが助けられた。」 (同上 112)

c. 悔い改めを条件にすべての罪人に希望があることを、イエスのどの宣言が示していますか (マタイ 21:28-31; ルカ 13:1-5)。このお方は彼らにどの保証を与えておられますか (ヨハネ 6:37)。

「外観がどんなものであろうと、自己を中心に行っている人の生活は、浪費である。だれでも神を離れて生きようとするならば、自分の財産を浪費するのである。すなわち貴重な年月を浪費し、思いと心と魂の力を浪費し、自分を永遠の破産者にしようとしている。自分を満足させるために神から離れていくものは、富のどれいである。」 (キリストの実物教訓 181)

3. 神の憐れみと正義 (続)

- a. エリコとその住民の滅亡は、なぜ必要だったのですか。彼らを伝道しようとする方が良かったのではないですか (創世記 15:13-16; 申命記 9:4; イザヤ 26:10)。

「[申命記 7:2; 20:16 引用]。この命令は、聖書の他の箇所に命じられている愛とあわれみの精神に反していると思う人が多いが、実際、それは、無限の知恵と恵みに満ちた命令であった。……

カナンの住民には、悔い改めの機会が十分に与えられていた。四十年前、紅海が開かれたことと、エジプトに刑罰がくだったことが、イスラエルの神の最高の能力を証明したのである。……こうしたできごとは、みな、エリコの住民に知られていた。」(人類のあけぼの下巻 114)

- b. 救済方法のないほど不正直である真理への反対者について、伝道者たちはどのように警告されていますか (マタイ 7:6)。使徒パウロはそのような人々に多くの時間を無駄に使わないために、どのように訓告していますか (テトス 3:10, 11)。

「[マタイ 7:6 引用]。イエスはここで、罪の奴隷の状態から脱出しようという願いを持たない人々のことを言っておられる。彼らは、不正や悪にふけることによって、その性質が全く墮落し、悪に愛着を持ってそれから離れようとしないのである。キリストのしもべは、福音をただ論争とあざけりの種にしかしようとししない人々によって妨げられてはならない。」(祝福の山 161)

- c. わたしたちはなぜいつも他の人々の選択の利益を与える準備ができているべきなのですか (サムエル記上 16:7 (下句))。

「多くの人々は自分の行いが悪いために、光よりも闇を選ぶ。しかし、もし真理が違った方法で提示されていたならば、すなわち違った状況下で提示され、彼らに自分自身で議論をはかり、聖句と聖句を比較する公平な機会が与えられていたならば、その明白さに魅了され、それをつかんだはずの人々がいる。」(教会への証 3 巻 426, 427)

4. 神はさらに大きな事をなさそうとしておられる

a. イスラエルの民の信仰は、主がエリコで働かれた奇跡に関連して、どのように試されましたか（ヘブル 11:30）。

「主の軍勢の将は、ヨシュアにだけお語りになった。彼は、全会衆には、ご自分をあらわされなかった。……『これは、なんという無意味な運動であろう。雄羊の角のラッパを吹いて、毎日町の城壁の周囲を回することは、なんとおかしいことであろう。このようなことは、そびえ立つ城塞になんの効果もあり得ない』と彼らは考えることができた。しかし、城壁がついにくずれ落ちるに先だって、このように長い間、儀式を継続する計画そのものが、イスラエルの人々の信仰を助長する機会となった。それは、彼らの力が、人間の知恵や能力にあるのではなく、ただ彼らの救いの神だけにあることを、人々の心に印象づけるためであった。こうして、彼らは、天来の指導者に全く信頼するようになっていくのであった。」（人類のあけぼの下巻 115）

b. この出来事は、わたしたちに何を教えますか（ヨハネ 14:12; ヨハネ第一 5:4）。

「エリコを攻め取るにあたって、イスラエル軍の一人たりとも、町の城壁を崩壊するのに自分の有限な力を働かせたと自慢できないのであった。そうではなく主の軍勢の将は、主のみが栄光を受け、死すべき人間が高められないように、最高の単純さをもって戦闘を計画された。神はわたしたちにすべての力を約束された。」（勝利されたキリスト 136）

「神は、彼に信頼する者のために、大きなことをなさる。神を信じると言っている人々に、もっと力がないのは、彼らが自分たち自身の知恵に頼りすぎ、主が、彼らのためにみ力をあらわす機会を主に与えないからである。しかし、彼らが、全く主に信頼し、忠実に彼に従うならば、どのような事態が起こっても、主は、主を信じる子供たちをお助けになる。」（人類のあけぼの下巻 115, 116）

〔キリストの教会、また、クリスチャン個々の最大の勝利は、才能や教育、あるいは富、または人間の援助によって得られるものではない。その勝利とは、神との交わりの部屋で熱心に苦闘する魂が、信仰によって力強いみ腕をつかむときに得られる。〕（同上上巻 221）

5. わたしたちはどのように勝利を得ることができるか

a. わたしたちがいつも心に留めているべきイエスの警告と約束は何ですか (ヨハネ 15:5, 7)。

「これからは、キリストに従う者たちは、サタンを征服された敵としてみるのであった。十字架上で、キリストは、彼らのために勝利を獲得されるのであった。その勝利を、彼らが自分自身のものとして受け入れるように、イエスは望まれた。「わたしはあなたがたに、へびやさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を受けた。だから、あなたがたに害をおよぼす者はまったく無いであろう」とイエスは言われた (ルカ 10:19)。

聖霊の全能の力は、悔い改めたひとりびとりの魂の防壁である。悔い改めと信仰をもってキリストの保護を求める者がひとりでも敵の権力下に陥ることを、キリストはおゆるしにならない。救い主は、誘惑と試みを受けている人たちのそばにおられる。イエスといっしょなら、失敗も損失も不可能も敗北もない。われわれは、われわれを強くしてくださるイエスを通してすべてのことをなすことができる。誘惑や試みがやってくる時、全部の困難を処理するまで待たないで、あなたの助け手であるイエスを仰ぎなさい。」 (各時代の希望中巻 292, 293)

「われわれは自力では何もできない。全く無力で無価値なわれわれは、十字架につけられ復活された救い主の功績に頼らなければならない。そうするかぎり、だれひとり滅びることはない。われわれの罪の長い暗黒の記録は、無限の神の目の前におかれている。帳簿は完全である。われわれの罪は、一つとして忘れ去られてはいない。しかし、昔、神のしもべの叫びに耳を傾けられた神は、信仰の祈りを聞いて、われわれの罪を許される。神は約束された。そして、神は約束を守られるのである。」 (人類のあけぼの上巻 220, 221)

「すべての罪を捨て、熱心に神の祝福を求めようとしなければそれを得ることができない。…神の約束をしっかりとにぎ…るものはみな、…聞かれるのである。(同上 221)

個人的な復習問題

1. キリストがヨシュアにご自身を表されたとき、このお方はご自身の保証と共にどのような指示をお与えになりましたか。
2. エリコの滅亡において、このお方の憐れみはどのように示されましたか。
3. わたしたちは、どの種類の罪人には多くの時間を無駄にしないようにと警告されていますか。
4. わたしたちは個人として、また教会として、どのように最大の勝利を得ることができますか。
5. わたしたちの人生において、罪に勝利する秘訣は何ですか。

イスラエルが敗れた—なぜか

「イスラエルは罪を犯し、わたしが彼らに命じておいた契約を破った。」(ヨシュア 7:11)

「アカンの歴史は、ひとりの罪によって神のご不興が、その不法が調べられ罰せられるまで、民もしくは国家の上にとどまるという厳粛な教訓を教えている。」(戦いと争闘 120)

推奨文献：人類のあけぼの下巻 116-123

日曜日

3月16日

1. 「イスラエルは罪を犯した」

a. エリコの陥落の後まもなく、何が起こりましたか (ヨシュア 7:2-5)。

「神が、〔エリコの陥落をめぐって〕イスラエルのために大勝利をお与えになったために、彼らは自己過信に陥った。神が、彼らにカナンの国を約束なさったために、彼らは安心し、神の助けだけが、彼らに成功を与え得ることを自覚しなかった。ヨシュアでさえ、神の勧告を仰がないで、アイ征服の計画をたてた。

イスラエルの人々は、自分自身の力を賛美し、彼らの敵を軽視しはじめた。勝利は、たやすく得られるように思われ、占領には、三千人で十分であろうと思われた。彼らは、神がいっしょにおられることを確かめもせずに攻撃した。」(人類のあけぼの下巻 116)

b. イスラエル人はなぜ敗北したのですか (ヨシュア 7:1, 12)。

「それは、失望したり、悲しんだりするときではなくて、すぐに、決定的行動をとるべきときであった。宿営の中に、隠れた罪があった。そして、主が神の民と共にいられて祝福してくださるためには、まず、それをさがし出して、除かなければならなかった。……

神の刑罰を実行するように命じられた者のひとりが、神の命令を無視した。……ヨシュアには、犯人を発見して、罰するようにという指示が与えられた。」(同上 117, 118)

2. 「罪が全国民に問われた」

- a. 神の命令は、実際にイスラエルの陣営全体によって犯されたのですか、あるいはわずかひとりの人によってですか（ヨシュア 7:18）。

「神はエリコに関して非常に厳密であられた。さもなければ民は住民が礼拝していたものに惹かれて、彼らの心が神から離れるからであった。このお方はもっとも明白な命令によってご自分の民を守られた。しかし、このヨシュアの口によって神から与えられた厳粛な禁止命令にもかかわらず、アカンはあえて罪を犯した。彼の貪欲は、神の呪いが彼らに及ぶがゆえに、彼に触ることを禁じた宝をとるように導いた。そしてこの男の罪のゆえに神のイスラエルは彼らの敵の前で水のように弱くなったのである。」（教会への証 3 巻 264）

「その犯罪人の罪が〔イスラエルの〕全国民に問われた。『彼らは奉納物を取り、盗み、かつ偽つ』た（ヨシュア 7:11）。」（人類のあけぼの下巻 117）

- b. 真正な禁止命令に反して故意に行動することによって、ひとりの個人が罪を犯したのであれば、なぜ神はその責任を国民全体に負わされたのですか（ヨシュア 7:11）。

「アカンの罪は、国民全体を不幸にした。ひとりの罪をさがし出してそれを取り除くまで、神の怒りは教会の上にとどまる。教会が最も恐れなければならない勢力は、公然と攻撃する反対者や、無神論者や、神を汚す者などではなくて、キリストを信じるといういながら、矛盾した生活を送る人々である。イスラエルの神の祝福をささげり、神の民を弱めるのは、このような人々なのである。」（同上 121）

「過去において主がご自分の民を扱われた方法において、このお方は悪から教会を精錬する必要を示された。ひとりの罪人が神の光を全会衆から閉め出す闇を放散するかもしれない。民が自分たちの上に闇が覆っていることに気づきながら、その原因がわからないとき、このお方の御霊を悲しませている悪が探し出されて取り除かれるまで彼らは熱心に、おおいにへりくだって、自己を捨てて、神に求めるべきである。」（教会への証 3 巻 265）

3. 「立ちなさい」

- a. ヨシュアはどのように主に叫びましたか。彼は何について最も懸念しましたか（ヨシュア 7:6-9）。

「ヨシュアとイスラエルの長老たちは大変な苦悩のうちにあった。彼らは主がご自分の民に怒っておられるので、もっともいやくへりくだり、神の契約の箱の前に伏した。彼らは神のみ前に祈り、涙を流した。」（教会への証 3 巻 264）

「もしあなたに識別力があれば、ヨシュアの祈りから、アカンによって些細なことだと思われたことが、イスラエルの責任者たちに非常な苦悩と悲しみの原因となったことがわかる。……有罪の側であったアカンは、重荷を感じなかった。彼はそれを非常に冷淡に受け止めた。」（勝利されたキリスト 137）

- b. 神がヨシュアになすよう命じられた最初の働きは何でしたか（ヨシュア 7:10, 13）。

「それは、失望したり、悲しんだりするときではなくて、すぐに、決定的行動をとるべきときであった。宿営の中に、隠れた罪があった。そして、主が神の民と共におられて祝福してくださるためには、まず、それをさがし出して、除かなければならなかった。」（人類のあけぼの下巻 117）

「主は、だれが有罪の人であるかを特定なさらなかった。しかし、このお方はどのようにそれがなされるべきかの指示をお与えになった。」（ユース・インストラクター 1894 年 1 月 25 日）

- c. ある人々は今日教会の中で同様な働きがなされなければならないとき、どのように反応しますか（イザヤ 30:9, 10）。

「神の民の中の悪が譴責されたがゆえに生じた憎しみの精神が、彼ら自身の魂に盲目と恐るべき欺瞞をもたらし、彼らが善悪を識別することができないようにした。彼らは自分自身の霊的な目薬を取り除いたのである。彼らは悪を目撃するかもしれないが、ヨシュアが感じたようには感じず、彼らを感じる魂の危険のゆえに自らをへりくだらせることをしない。」（教会への証 3 巻 266）

4. 「滅ぼされるべきものを、あなたがたのうちから除き去りなさい」

- a. なぜ、主は犯罪者を直接指摘なさらなかったのですか（詩篇 32:5）。受け入れられる告白と受け入れられない告白の違いは何ですか。

「罪人は、すぐに指摘されたのではなくて、しばらくの間、不明のままにされていた。それは、人々が、自分たちのなかにある罪の責任を感じるためであった。そして、深く心をさぐって、神の前にへりくだるためであった。」（人類のあけぼの下巻 117, 118）

「アカンは……、イスラエルの軍勢がアイで敗北し、失望したのを見た。しかし、彼は進み出て罪を告白しなかった。彼は、ヨシュアとイスラエルの長老たちが、言葉で表現できない大きな悲しみのうちに、地にひれ伏したのを見た。もし彼がそのときに告白していたならば、それは、真の悔い改めの証拠となったことであろう。しかし、彼は、まだ黙したままであった。彼は、大きな犯罪が行なわれたこと、そして、その罪の性質さえもはっきり宣言されたのを聞いた。しかし、彼は、くちびるを閉じていた。……事実が証明されたあとで、それを認めることと、神とわれわれだけに知られた罪を告白するのとは、非常な相違がある。アカンは、告白することによって、犯罪の罰をのがれようとする気がなかったならば、告白はしなかったことであろう。しかし、彼の告白は、その刑罰の正当なことを示したに過ぎなかった。彼は、罪に対する真の悔い改めも、悔悟も、目的の変更も、悪に対する憎しみも感じていなかった。」（同上 121, 122）

- b. なぜ神は全会衆が、勤勉な調査に関わるようにされたのですか（コリント第一 12:25, 26）。

「神はご自分の民を、体として、彼らのあいだの個々人に存在する罪に対して責任のあるものとされた。もし教会の指導者たちが神のご不興を組織体にもたらしめている罪を勤勉に調査することをなおざりにするなら、彼らは彼らの罪に責任を負うことになる。」（教会への証 3 巻 269）

- c. 誤っている人を助ける場合、必要とされる牧師の働きには、どのような種類の知恵が伴うべきですか（ヤコブ 1:5; 3:17, 18; ユダ 22, 23）。

5. 「ほんとうにわたしは罪を犯しました……」

a. くじがアカンにあたったとき、彼は何と言いましたか（ヨシュア 7:20, 21）。

「アカンがまちがいなく罪を犯し、不当の罰を受けたという非難が起こる余地を残さないために、ヨシュアは、アカンに、その事実を認めることを厳粛に命じた。アカンは、自分の犯罪を全部告白した。」（人類のあけぼの下巻 118）

「神の民を救済するために正しいときに行われる罪の告白は、このお方に受け入れられる。しかし、わたしたちのうちに、アカンのように自分たちを救うには遅すぎるときになって告白をする人々がいる。」（教会への証 3 巻 272）

b. アカンに与えられたどの刑罰が、残った人々のための警告となりましたか（ヨシュア 7:24, 25）。わたしたちにとっては、どのように警告となりますか。

「アカンを死に至らせた恐ろしい罪の根は貪欲であった。これは、すべての罪の中で最も一般的のもので、最も軽視されている。他の罪は、発見されて罰せられるのであるが、第十条の罪は、非難されることさえまれである。この罪がどんなに極悪で、その結果がどんなに恐ろしいものであるかという教訓をアカンの生涯が教えている。

貪欲は、徐々にひろがる悪である。アカンがいだいた貪欲心は、ついに習慣となり、断ち切れない鎖のように彼を束縛した。彼は、この悪を心にいだいて、それが、イスラエルに災いをもたらすことを考えて、恐怖心をいだいたことであろう。しかし、彼の感覚は、罪のために鈍くなった。そして、誘惑にあったとき、彼はもろくも負けてしまった。

同様に厳粛で明瞭な警告があるにもかかわらず、同じような罪がなお、行なわれていないであろうか。アカンがエリコのぶんどり物について禁じられていたのと同様に、われわれも貪欲心をいなくことを明らかに禁じられている。神は、それを偶像礼拝であるといわれた。」（人類のあけぼの下巻 119, 120）

個人的な復習問題

1. イスラエル人はなぜアイの人々との最初に対面したときに破れたのですか。
2. 神がヨシュアになすようお命じになった最初の働きは何でしたか。
3. なぜ神は犯罪人を勤勉に調べ出すのに、全会衆をたずさわらせたのですか。
4. 過ちに陥っている教会員を扱うのにどのような種類の知恵が必要とされていますか。
5. なぜアカンの告白は受け入れられなかったのですか。

聖なる国民

「あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう」（出エジプト記 19:6）

「神はご自分の民イスラエルが讃美と栄光になるように望まれた。……神の律法に対する彼らの従順は、彼らを世の諸国民の前に繁栄の驚異とするのであった。」（教会への証 6 巻 221, 222）

推奨文献：キリストの実物教訓 264-271;

患難から栄光へ上巻 5-8

日曜日

3月23日

1. 選ばれた民

- a. イスラエルの民が、特別な使命を委ねられた特別な民、聖なる国民となるために選ばれたと言われたとき、彼らはどのように答えましたか（出エジプト記 19:8）。

「神は、〔イスラエル〕の神となって、彼らをご自分の民とし、彼らをもっと広く、もっとよい国へ導くと約束されたのに、彼らは、その国へ行く途中、妨害に出会うたびにすぐ失望した。神は彼らを向上させて、高潔にし、彼らを地上の賞賛に値する国とするために、不思議な方法をもってエジプトの奴隷の境遇から救い出された。」（人類のあけぼの上巻 337）

- b. 神の聖なる律法のすべての戒めが民に宣言された後、彼らはなんと答えましたか（出エジプト記 24:3, 7）。

「神は、イスラエルを神の民として選ばれた。そして、彼らは、神を彼らの王として選んだのであった。」（国と指導者上巻 260）

2. 世における光

- a. 彼らの旅路の終り近くに、どのように契約の条件がイスラエル人にくり返されましたか (申命記 4:1, 2)。

「〔イスラエル人〕は、将来彼らを襲ってくる誘惑についての警告をモーセから受けた。そして、彼らは、周囲の国々から分離し、ただ神のみを礼拝するようにと、熱心に説きすすめられた。」(国と指導者上巻 260, 261)

- b. イスラエルを世における光として打ち立てることが神のご目的でした。モーセは彼らに何と言うように命じられましたか (申命記 4:5-8)。

「ユダヤ民族を通して豊かな祝福を全人類に与えることが神のみ旨であつた。……世界の諸国は、墮落した習慣におちいることによって神の知識を失っていた。しかし、あわれみある神は彼らを滅ぼしたりなさらなかった。神は、教会を通して神を知る機会を彼らに与えようと意図なさった。神は、神の民を通してあらわされる原則が、人間の中に神の道徳的なみかたちを回復する手段となるように計画された。」(キリストの実物教訓 264)

- c. どのような条件に基づいて、主はご自分の恵み深いみ手を彼らに差し伸べられましたか (申命記 4:29-31)。

- d. 彼らが主の契約を忘れて、このお方から向きを変えるときに、何が起こるのですか (申命記 4:23-27)。

「モーセは、エホバの戒めから離れる結果生じる災いを描写した。もし人々が長く約束の地に住んだあとで、もしも腐敗した礼拝の形をとりいれて、刻んだ像を拝み、真の神の礼拝に立ち返ることを拒むならば、主は彼らに対して怒りを発し、彼らは捕らえられて行って、異教徒の間に離散するであろうと、天と地とを証人として、モーセは宣言したのである。」(国と指導者上巻 262)

3. 真正な教育体制

- a. イスラエルが世の光となるために、彼らはどのように教育された民となる必要がありましたか。イスラエルの親に、どのような義務が託されましたか(申命記 6:6-9)。

「子供たちに神の要求を教え、先祖たちに対する神の処置のすべてを彼らによく教えるように、神はヘブル人に命じておられた。これは、すべての親の特別の義務で、他人に委託できないものであった。他人のくちびるではなくて、父親と母親の愛の心からの教えが、子供たちに与えられなければならなかった。」(人類のあけぼの下巻 253)

- b. 福音の働きのための準備として、教育は必要ですか(テモテ第二 2:15)。

「キリストは、『すべての人を照らすまことの光』(ヨハネ 1:9)である。人はみなキリストを通して生命を持っているが、同じようにどんな魂もキリストを通して幾らかの天の光が与えられる。どんな人の心にも、知的な能力ばかりでなく、また霊的な能力、すなわち正しいことをみわける能力、良いことをしようとする欲求がある。しかし、こうした原則に対して、一つの相反する能力が戦っている。善悪を知る木の実を食べた結果は、すべての人間の経験にあらわれている。人の性質には、悪への傾向、すなわち自力だけでは抵抗し得ない一つの力が働いている。この力に抵抗し、魂の奥底に唯一の価値を感じている理想を達成するためには、ただ一つの力に助けを求めてすぎるよりほかに道はない。その力とはキリストである。この力と協力することが、人にとって最大の必要である。」(教育 21)

- c. わたしたちの光がますます明るく輝くために、わたしたちにどのような知識が必要ですか(マタイ 5:14-16)。

「牧師や宣教師や教師が、日常生活の実際的な仕事に必要な知識と技術を持っていることがわかると、人々に及ぼす彼らの感化はいつそう大きくなる。伝道者としての成功や、また恐らく生活そのものは、彼が実際的な事柄について知識を持っているかどうかによって左右される。」(同上 261)

4. 世の最大の必要

a. 今日、世の最大の必要は何ですか (ヨハネ 1:9-12)。

「世は今日、キリスト・イエスの聖徒たちのうちに表されたこのお方の啓示を差し迫って必要としている。神はご自分の民が世の前に聖なる民として立つことを望んでおられる。なぜであろうか。それは福音の真理の光によって救われるべき世界があるからである。そして人を闇から神の驚くべきみ光のうちに招き入れるべき真理のメッセージが教会によって与えられるとき、真理の御霊によって聖化されたその教会員の生活は、宣布されたメッセージの真実性に対して証を担うのである。

神はご自分の民が自らをご自分に対して正しい関係のうちに置くよう望んでおられる。それによって神が他のすべてのことにまさって自分たちに何を要求しておられるかを彼らが理解できるためである。彼らは世にいるすべての苦闘している魂に『公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩む』とは何を意味するかを明らかにしなければならない (ミカ 6:8)。彼らがどこにいても、地元でも海外でも、このお方の戒めを守る民とならなければならない。彼らには自分たちの罪が許されていること、また彼らがいと高きお方の子として受け入れられているという確証がなければならない。」(牧師への証 458, 459)

b. アドベンチストの民に委ねられた三重のメッセージ (黙示録 14:6-12) を含む現代の真理の目的は何ですか (イザヤ 60:1, 2)。

「主は憐れみのうちに今、誤謬の闇の中で手探りしている人々の理解を啓発しようとしておられる。このお方はご自分の光を担う人々が失われたものを探し出して救うことができるために、悔い改めない世に対する裁きを延ばしておられる。このお方は今、地上におけるご自分の教会に、サタンのもたらそうとしている昏睡から目覚め、世を明るくするという天の定められた自分たちの働きを果たすよう求めておられる。この時代のためのこのお方の教会へのメッセージは、『起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから』である (イザヤ 60:1)。闇が地を、深い闇が民を覆っているこの時代に存在する状態に応じるため、神の教会は聖書の真理の光を広く降り注ぐことにおいて神と協力するよう任じられてきた。」(同上 458)

5. 永遠の福音と最後のメッセージ

- a. 主は三重のメッセージを信じるすべての信徒にどの責任を負わせておられますか（ピリピ 2:15, 16）。

「世界の人々は偽りの神々を拝んでいる。彼らをそのようなまちがった礼拝から引きはなさなければならないが、それは偶像を非難することによってではなくて、それよりも更にすぐれたものを見せることによってでなければならない。神のいつくしみを人々に知らせなければならない。『あなたがたはわが証人である』と主は言われる（イザヤ書 43:12）。……

罪におちいった人類への神の驚くべき愛を感謝……していることを、わたしたちは世界と、そして すべての住民たちに示さなければならない。わたしたちは今より以上に、もっと自分のとうい体験を語る必要がある。」（キリストの実物教訓 278, 279）

- b. 神はご自分の民を通して、何を成し遂げようと意図しておられますか（マタイ 24:14）。

「奉仕の精神が教会全体にゆきわたって、教会員が残らず各々の才能に応じて主のために働くのを、神は長いあいだ待っておられる。福音事業の任命を完成するために、神の教会の会員が、光の必要な自国や外国の伝道地で、それぞれ定められた働きをするならば、まもなく全世界に警告がゆきわたり、主イエスは力と大いなる栄光をもってこの世にもどってこられるのである。」（患難から栄光へ上巻 116）

個人的な復習問題

1. 民がカナンに近づいたときに、彼らとの契約の条件が、どのように繰り返されましたか。
2. 神はどのようにご自分の道徳のみかたちを男女に回復する手段として、イスラエルを通して表された原則をお用いになりましたか。
3. 主の契約を忘れて、このお方から向きを変えるとき、何が起こるのですか。
4. イスラエルが世の光となることができるように、教育のどの点が強調されましたか。
5. 世の人々は、どのように偽りの礼拝から離れるようになるのですか。

第一安息日献金



1月4日

ブルガリアの

ミッションフィールドのために

(4 ページ参照)

2月1日

世界災害救済基金のために

(25 ページ参照)



3月1日

ボリビアのサンタクルス・

デラシエラのための献金

(46 ページ参照)